

第32回日本道路会議 プログラム

— 2017.10.31 (火)～11.1 (水) —

公益社団法人 日本道路協会

目 次

参加者の皆様へ	2
第 32 回日本道路会議会場案内	3
会場図	4
タイムテーブル	5
第 32 回日本道路会議プログラム	7
基調講演	9
〔ビッグデータを活用した道路施策のあり方〕	
パネルディスカッション	9
〔ビッグデータをいかに活用するか〕	
基調講演・パネルディスカッション	10
〔道路協力団体をはじめとした地域活動団体の取組みの活性化〕	
パネルディスカッション	11
〔巨大地震への備え～熊本地震から学べきこと～〕	
基調講演・パネルディスカッション	12
〔無電柱化推進法を受けた取組〕	
基調講演・パネルディスカッション	13
〔道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実証実験〕	
基調講演・パネルディスカッション	14
〔自転車活用推進法を受けた取組〕	
パネルディスカッション	15
〔アセットマネジメントに関する国際シンポジウム〕	
パネルディスカッション	16
〔途上国における道路プロジェクトを通じて道路整備の原点を振り返る〕	
一般論文発表 目次	17
論文の概要と主要課題	18
一般論文 口頭発表	21
(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	22
(2) 道路管理・修繕・更新部門	32
(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門	40
(3)-2 建設・施工技術（土工）部門	55
(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門	61
(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門	67
一般論文 ポスターセッション	72

第 32 回日本道路会議

平成 29 年 10 月 31 日(火)～ 11 月 1 日(水)

会場：都市センターホテル

参加者の皆様へ

(1) 受付について

10 月 31 日 (9 時 00 分～12 時 00 分) : 3 階 コスモスホール前

10 月 31 日 (12 時 00 分～) : 6 階 601 号室前

11 月 1 日 (8 時 30 分～) : 6 階 601 号室前

参加券を提出のうえ、資料・ネームプレート等をお受け取り下さい。

※ネームプレートは、会場内で必ず着用して下さい。

(2) 配布資料について

参加申込者には、事前にプログラム・論文集 (DVD-ROM) を送付しますが、ネームプレート等は当日配布します。

(3) コピーサービスについて

会場内では、コピーサービス等は行っておりませんので、必要論文等は事前に印刷してご持参ください。

(4) クロークについて

3 階 コスモスホール前

10 月 31 日 (9 時 00 分～18 時 30 分)

11 月 1 日 (8 時 30 分～18 時 30 分)

(5) 事務局

6 階 603 号室

(6) プログラムについて

A 3 判のタイムテーブルに沿って、2 日間各プログラムを開催します。

①口 頭 発 表 : 各部門ごとに論文発表

※論文発表者は各セッションの開始 10 分前には入室し、セッション中の離席はご遠慮下さい。

1 論文の発表時間＝12 分 (質疑応答は含まない)

②ポスターセッション：2 日間にわたり個別対応による質疑応答

・ 31 日 13 時 00 分～16 時 30 分 (うち発表者との質疑応答時間：13：00～14：30)

【計画・環境・安全・情報・マネジメント部門、道路管理・修繕・更新部門、建設・施工技術 (土工・トンネル) 部門】

・ 1 日 9 時 15 分～12 時 45 分 (うち発表者との質疑応答時間：9：15～10：45)

【建設・施工技術 (舗装) 部門】

(7) アンケートについて

受付での配布資料に同封のアンケート並びに会場内で配布されるアンケートにご協力ください。記入されたアンケートは各階に設置されている回収ボックスに投函してください。

(8) その他の注意事項

①会議室内での携帯電話の使用はご遠慮ください。

②貴重品はお預かりしませんので、各自で管理願います。

③全館禁煙です。

※プログラムに掲載されている所属は、論文提出時の所属で統一しておりますのでご了承ください。

第 32 回日本道路会議会場案内

都市センターホテル

TOSHI CENTER HOTEL

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目4番1号

Tel. 03-3265-8211 (代表)

Fax. 03-3265-1705

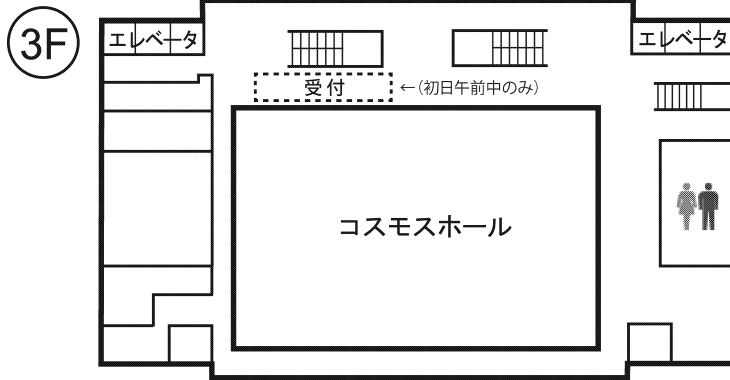
<https://www.rihga.co.jp/toshicenter/>



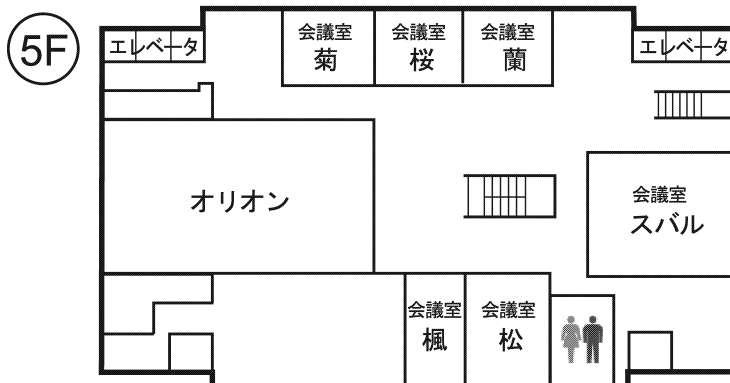
■交通機関

- ・東京メトロ有楽町線、「麹町駅」半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- ・東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線、「永田町駅」9b番出口より徒歩3分
- ・東京メトロ丸の内線・銀座線、「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- ・JR 中央線、「四ッ谷駅」麹町出口より徒歩14分

会場図

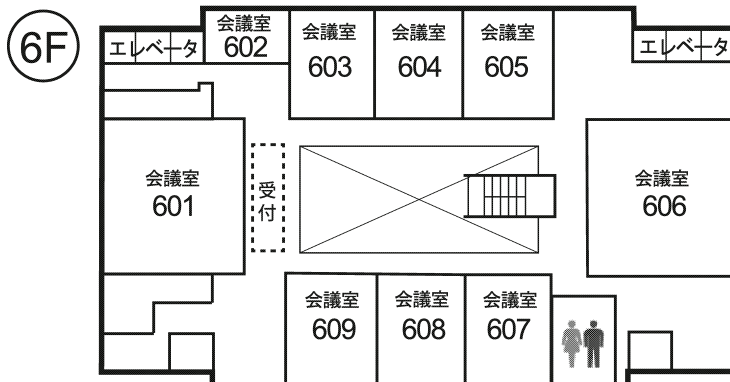


コスモスホール (1) (2)
 開会
 基調講演
 パネルディスカッション
 表彰式



オリオン
 ポスターセッション
 展示・広告ブース

スバル
 計画・環境・安全・情報・
 マネジメント部門
 土工部門
 橋梁部門
 トンネル部門
 集中討議セッション
 舗装部門



601 舗装部門
 集中討議セッション

603 事務局

604 舗装部門

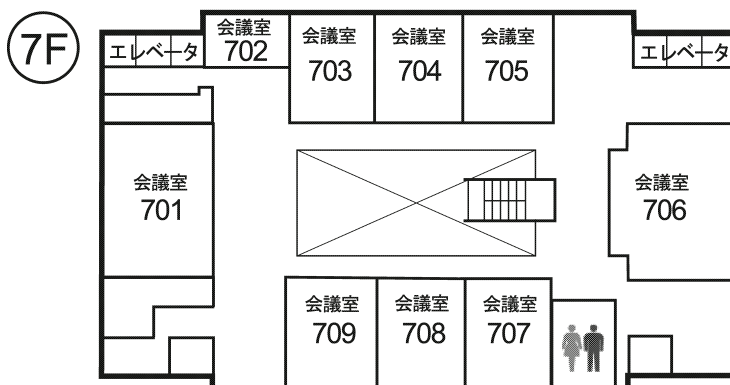
605 舗装部門

606 舗装部門

607 舗装部門

608 橋梁部門

609 橋梁部門



701 計画・環境・安全・情報・
 マネジメント部門
 集中討議セッション

703 計画・環境・安全・情報・
 マネジメント部門

704 計画・環境・安全・情報・
 マネジメント部門

705 舗装部門
 道路管理・修繕・更新部門

706 道路管理・修繕・更新部門
 集中討議セッション

707 道路管理・修繕・更新部門
 土工部門

708 土工部門

709 トンネル部門

第32回日本道路会議 タイムテーブル

階	会場	10月31日(火)							
		午 前				午 後			
3		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	コスモス① コスモス②	開会挨拶	基調講演	パネルディスカッション 「ビッグデータをいかに活用するか」	基調講演・パネルディスカッション 「道路協力団体をはじめとした地域活動団体の取組みの活性化」		基調講演・パネルディスカッション 「無電柱化推進法を受けた取組」		表彰式
5		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	オリオン				展示・広告ブース				
6		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	スバル				ホスターセッション(計画、道路管理、土工、トンネル部門)		個別対応		
7		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	601				集中討議① 「舗装における生産性向上技術」		④舗装における生産性革命-ICT-		優秀論文賞・奨励賞揭示
604				①舗装の長寿命化-高耐久型アスファルト舗装材料-		①舗装の長寿命化-舗装の長寿命化-			
605	建設・施工技術(舗装)			③環境に配慮した舗装-中温化技術-		②舗装の維持管理への新たな試み-劣化評価-			
606	* 一部スバルで開催			②舗装の維持管理への新たな試み-調査・点検・診断①-		②舗装の維持管理への新たな試み-調査・点検・診断②-			
607				②舗装の維持管理への新たな試み-試験法-		②舗装の維持管理への新たな試み-薄層舗装-			
608	建設・施工技術(橋梁)			床版①		床版②			
609	* 一部スバルで開催			計画・施工①		計画・施工②			
8		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
	701				(集中討議) 「防災機能評価」				優秀論文賞・奨励賞揭示
703	計画・環境・安全・情報・マネジメント			情報基盤の高度化		生活道路・通学路の交通安全			
704	* 一部スバルで開催			道路事業マネジメント			景観・道路空間利活用		
705				①舗装の長寿命化-コンクリート舗装-		震災対策、防災、減災対策-発災前対応-			
706	道路管理・修繕・更新			(集中討議) 「自治体における道路構造物の維持管理マネジメント支援」		道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術-補修・補強-			
707				社会資本の戦略的維持管理-舗装管理-		道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術-状態評価-			
708	建設・施工技術(土工)			改良土		維持管理			
709	建設・施工技術(トンネル)			山岳トンネル1		山岳トンネル2			

第 32 回日本道路会議プログラム

10 月 31 日（火）

- < 開 会 > 10:00～10:10 (3F コスモスホール (1) (2))
 開会挨拶 (日本道路協会会長)
 会議開催経過報告 (日本道路会議実行委員長)
- < 基 調 講 演 > 10:10～10:40 (3F コスモスホール (1) (2)) . 9
 [ビッグデータを活用した道路施策のあり方]
 講 演 者 : 羽藤 英二 (東京大学大学院工学系研究科教授)
- < パネルディスカッション > 10:45～12:30 (3F コスモスホール (1) (2)) . 9
 [ビッグデータをいかに活用するか]
 司 会 : 羽藤 英二 (東京大学大学院工学系研究科教授)
- < 基調講演・パネルディスカッション > 13:15～15:15 (3F コスモスホール (2)) ... 10
 [道路協力団体をはじめとした地域活動団体の取組みの活性化]
 講 演 者 : 保井 美樹 (法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科教授)
 コーディネーター : 保井 美樹 (法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科教授)
- < パネルディスカッション > 14:30～16:30 (3F コスモスホール (1)) ... 11
 [巨大地震への備え～熊本地震から学ぶべきこと～]
 コーディネーター : 和田 卓 (国土交通省道路局国道・防災課道路防災対策室長)
- < 基調講演・パネルディスカッション > 15:30～17:30 (3F コスモスホール (2)) ... 12
 [無電柱化推進法を受けた取組]
 講 演 者 : 松原 隆一郎 (東京大学大学院総合文化研究科教授)
 コーディネーター : 松原 隆一郎 (東京大学大学院総合文化研究科教授)
- < 一般論文発表 > 17
 * ポスターセッション 13:00～16:30 (5F オリオン)
 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門
 道路管理・修繕・更新部門
 建設・施工技術 (土工・トンネル) 部門
 * 口頭発表 (各部門) 13:15～16:45 (5F～7F の各会場)
 * 集中討議セッション

部 門	セッション名	時間・会場
計画・環境・安全・情報 ・マネジメント	「防災機能評価」 座長：柳沼 秀樹 東京理科大学理工学部土木工学科講師	13:30～16:45 701
道路管理・修繕・更新	「自治体における道路構造物の維持管理マネジメント支援」 座長：木村 嘉富 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部長	13:45～15:00 706
建設・施工技術 (舗装)	「舗装における生産性向上技術」 座長：近藤 弘嗣 国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課施工安全企画室課長補佐	13:30～15:00 601
建設・施工技術 (土工)	「道路土工構造物技術基準の先進的な運用について」 座長：小橋 秀俊 国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所地質・地盤研究グループ長	15:15～16:45 スバル

<展示・広告ブース> 13:00～18:00 (5F オリオン)

関係企業等による展示・企業PR

<表彰式> 17:30～18:00 (3F コスモスホール (1))

11月1日(水)

<基調講演・パネルディスカッション> 10:00～12:00 (3F コスモスホール (2)) ... 13
〔道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実証実験〕

講演者 : 原田 昇 (東京大学大学院工学系研究科教授)

コーディネーター : 原田 昇 (東京大学大学院工学系研究科教授)

<基調講演・パネルディスカッション> 14:30～16:30 (3F コスモスホール (2)) ... 14
〔自転車活用推進法を受けた取組〕

講演者 : 屋井 鉄雄 (東京工業大学副学長・教授)

コーディネーター : 屋井 鉄雄 (東京工業大学副学長・教授)

<パネルディスカッション> 10:00～12:00 (3F コスモスホール (1)) 15
〔アセットマネジメントに関する国際シンポジウム〕

コーディネーター : 伊藤 高 (国土交通省道路局国道・防災課道路保全企画室長)

<パネルディスカッション> 13:00～15:00 (3F コスモスホール (1)) 16
〔途上国における道路プロジェクトを通じて道路整備の原点を振り返る〕

コーディネーター : 木全 俊雄 (鹿島建設株式会社中部支店土木部)

<一般論文発表> 17

*ポスターセッション 9:15～12:45 (5F オリオン)

建設・施工技術(舗装)部門

*口頭発表(各部門) 9:30～16:15 (5F～7F の各会場)

*集中討議セッション

部 門	セッション名	時間・会場
建設・施工技術(舗装)	「舗装の点検技術とメンテナンスサイクルの確立を目指した技術」 座長: 竹内 康 東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 教授	13:00～14:30 601
建設・施工技術(橋梁)	「維持管理の高度化・効率化に向けた点検・診断技術の取り組み」 座長: 石田 雅博 国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ上席研究員	14:45～16:15 スバル
建設・施工技術(トンネル)	「トンネルの維持管理技術」 座長: 西村 和夫 首都大学東京 都市環境学部 理事・学長特任補佐・教授	13:00～14:30 スバル

<展示・広告ブース> 9:15～17:00 (5F オリオン)

関係企業等による展示・企業PR

<表彰式> 16:30～17:00 (3F コスモスホール (1))

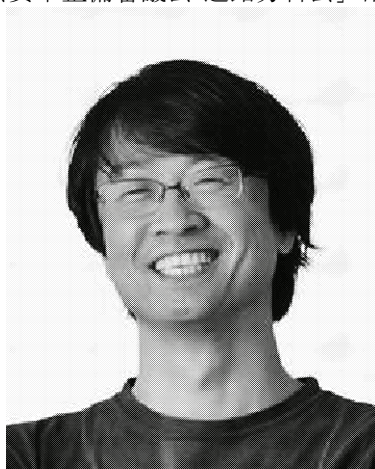
【基調講演】

〔ビッグデータを活用した道路施策のあり方〕

羽藤 英二（東京大学大学院工学系研究科 教授）

日時：10月31日（火）10:10～10:40 会場：3F コスモスホール（1）（2）

我が国社会は、人口減少や労働者の減少等に対し、それを上回る生産性の向上により経済成長を図ることが求められている。人流・物流はあらゆる生産活動の根幹であり、ピンポイント渋滞対策をはじめとして、生産性向上の観点からビッグデータをどのように活用し、効率的・効果的な道路施策につなげていくべきか、「社会資本整備審議会 道路分科会」臨時委員を務められる羽藤 英二氏が考える。



プロフィール

研究分野は交通工学・都市工学。1990年、広島大学工学部卒業。1992年、同工学研究科環境工学専攻 修了。現在は東京大学大学院工学系研究科教授。国土交通省社会資本整備審議会道路分科会をはじめ、国や地方自治体の多くの委員会で委員を務める。工学博士。

パネルディスカッション

〔ビッグデータをいかに活用するか〕

日時：10月31日（火）10:45～12:30 会場：3F コスモスホール（1）（2）

司 会：羽藤 英二（東京大学大学院工学系研究科 教授）

パネリスト：金光 寛幸（一般社団法人日本自動車工業会 ITS 技術部会長）

苦瀬 博仁（流通経済大学流通情報学部 教授）

高野 正克（首都高速道路株式会社保全・交通部 点検推進課長）

東 良和（観光庁 VISIT JAPAN 大使 沖縄観光株式会社 会長）

福田 大輔（東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系 准教授）

論 点：ビッグデータの活用により、どのように道路交通サービスを高められるか。
ビッグデータを更に活用していくための今後の展望。

基調講演・パネルディスカッション

〔 道路協力団体をはじめとした地域活動団体の取組みの活性化 〕

基 調 講 演 日時：10 月 31 日（火）13:15～13:45 会場：3F コスモスホール（2）

パネルディスカッション 日時：10 月 31 日（火）13:45～15:15 会場：3F コスモスホール（2）

- ・基調講演では、ストックの活用へと時代が変化していく中で、多様な地域団体の取組みが地域の価値を高めている現状と、道路空間を利活用したエリアマネジメントを行っている内外の事例を取りあげ、今後の地域活動団体の活性化に向けた課題や展望を示す。
- ・パネルディスカッションでは、各地域活動団体の具体的な活動報告（活動による効果、活動にあたっての課題）や道路管理者に求める支援内容、行政が地域活動団体に求める取組み、今後の展望について議論を行う。

(1) 基調講演

保井 美樹（法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター：

保井 美樹（法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授）

パネリスト：

成松 孝（NPO 法人御堂筋・長堀 21 世紀の会 理事長）

佐藤 太紀（シーニックバイウェイ北海道 萌える天北オロロンルート 副代表）

中村 安男（宮崎県都市計画課 課長）

宮本 馨（国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所 所長）

《内 容》

- 最近の道路利用者のニーズと対応
- 地域活動団体の活動内容、活動による効果、活動にあたっての課題
- 道路協力団体等の地域活動団体に求められる役割
- 行政に求められる支援
- 地域活動団体の取組み活性化に向けて

パネルディスカッション

[巨大地震への備え～熊本地震から学ぶべきこと～]

日時：10月31日（火）14:30～16:30 会場：3F コスモスホール（1）

- ・ 東日本大震災以降、南海トラフ地震や首都直下地震の発生に備え、様々な備えを進めてきており、道路としても「道路啓開計画」を策定し、大規模地震を想定した体制づくりや資機材の備蓄を進めてきたところである。
- ・ 一方、熊本地震では、県内約2,000kmの緊急輸送道路が約50箇所も通行止めとなり、ネットワーク機能やリダンダンシーの確保の観点での課題も浮上した。
- ・ このように、日本のどの地域で発生しても不思議ではない巨大地震への備えをどう考えるのか。
- ・ 道路管理者や災害協力会社が優先的に取り組んでおくべきことは何かなどを議論する。

パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター：

和田 卓（国土交通省 道路局 国道・防災課 道路防災対策室 室長）

パネリスト：

熊谷 順子（株式会社復建技術コンサルタント 理事）

小松 真二（高知県土木部道路課 課長補佐）

辻 芳樹（国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所 所長）

手島 健司（熊本県土木部 部長）

元岡 章（日本通運株式会社久留米支店 次長）

《内 容》

- 熊本地震の復旧・復興状況
- 熊本地震を踏まえた教訓
- 道路啓開計画の重要性
- 巨大地震を想定した備えに対する今後の方向性 など
- 最後に来場者との意見交換も実施予定

基調講演・パネルディスカッション

[無電柱化推進法を受けた取組]

基 調 講 演 日時：10 月 31 日（火）15:30～16:00 会場：3F コスモスホール（2）

パネルディスカッション 日時：10 月 31 日（火）16:00～17:30 会場：3F コスモスホール（2）

- ・基調講演では、昨年12月に「無電柱化の推進に関する法律」が公布施行され、今後、より一層、無電柱化の推進が求められる中、無電柱化を進める上での課題や、法律の施行を受けた今後の目指すべき方向性等について講演いただく。
- ・パネルディスカッションでは、無電柱化の必要性、自治体等における無電柱化の取組、官民によるコスト削減、法律の施行を受けた今後の施策の方向性等について、行政関係者、まちづくり関係者、防災関係者、電力事業者などを交えて議論する。

(1) 基調講演

「無電柱化推進に向け取り組むべき施策の方向性について」

松原 隆一郎（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

《講演内容（予定）》

- ・これまでの無電柱化の取組
- ・無電柱化を進める上での課題
- ・今後の無電柱化の目指すべき方向

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター：

松原 隆一郎（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

パネリスト：

吉田 信解（本庄市長）

神戸 啓（京都市先斗町まちづくり協議会副会長）

池上 三喜子（公益財団法人市民防災研究所 理事）

本橋 準（東京電力パワーグリッド株式会社 配電部長）

森山 誠二（国土交通省 道路局 環境安全課長）

《内 容》

- 防災などを踏まえた無電柱化の必要性
- 無電柱化に関する地域の先進的な取組
- コスト削減に向けた様々な取組
- 法律の施行を踏まえたこれからの取組 など
- 意見交換・討議

基調講演・パネルディスカッション

〔道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実証実験〕

基 調 講 演 日時：11月1日（水）10:00～10:30 会場：3F コスモスホール（2）

パネルディスカッション 日時：11月1日（水）10:30～12:00 会場：3F コスモスホール（2）

- ・高齢化や公共交通の衰退が進行する中山間地域では、今後、人流や物流を確保していくことが喫緊の課題になっている。
- ・自動運転については、政府として2020年までに限定地域での無人自動走行移動サービスを実現する目標としている。
- ・国土交通省では、自動運転技術を取りわけ中山間地域で活用することが重要と考えており、中山間地域を中心に全国に設置されている道の駅等を拠点として、自動運転サービスの社会実装に向けた取り組みを進めている。
- ・本パネルディスカッションでは、道の駅等を拠点とした自動運転サービスがなぜ必要とされているのか、本サービスを実現するためのビジネスモデルの形や、それらを受けて道路管理者に求められるもの等、幅広く議論する。

(1) 基調講演

「道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実現に向けて」

原田 昇（東京大学大学院工学系研究科 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター：

原田 昇（東京大学大学院工学系研究科 教授）

パネリスト：

稲波 純一（ヤマハ発動機株式会社技術本部研究開発統括部 部長）

小山 源昭（全国「道の駅」連絡会 「道の駅」アドバイザー）

黒田 敏夫（ヤマト運輸株式会社社長室 室長）

馬渡 真吾（国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室 企画専門官）

《内 容》

○各パネリストからの情報提供

○意見交換・討議

論 点

- ・道の駅を拠点とした自動運転サービスがなぜ必要とされているのか
- ・道の駅等を拠点とした自動運転サービスを実現性するためのビジネスモデル
- ・道の駅等を拠点とした自動運転サービスにおいて道路管理者に求められるもの

など

基調講演・パネルディスカッション

〔 自転車活用推進法を受けた取組 〕

基 調 講 演 日時：11 月 1 日（水） 14:30～15:00 会場：3F コスモスホール（2）

パネルディスカッション 日時：11 月 1 日（水） 15:00～16:30 会場：3F コスモスホール（2）

- ・ 極めて身近な交通手段である自転車の活用の推進は、環境負荷の低減や交通混雑の緩和などに資する重要な取組であり、平成 29 年 5 月には、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進する「自転車活用推進法」が施行された。
- ・ 基調講演では、自転車の活用を推進するため、現状の課題に対してどのように取り組んでいくべきか、サイクルツーリズムの推進を切り口として講演していただく。
- ・ パネルディスカッションでは、自転車を活用した観光地域づくりを推進するため、官民連携によるサイクリング環境の向上等、取り組むべき施策の方向性について、自治体関係者からの取組の紹介を交えながら議論を行う。

(1) 基調講演

屋 井 鉄 雄 （東京工業大学副学長・教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター：

屋 井 鉄 雄 （東京工業大学副学長・教授）

パネリスト：

太 田 昇 （真庭市長）

奥 田 秀 樹 （国土交通省道路局参事官室 自転車活用推進官）

絹 代 （サイクルライフナビゲーター）

宮 本 和 宏 （守山市長）

矢ヶ崎 紀子 （東洋大学 准教授）

《内 容》

○自治体関係者からの取組事例紹介

太 田 昇 （真庭市長）

・ 真庭市自転車まちづくり ～真庭で散走サイクリングの取組から～

宮 本 和 宏 （守山市長）

・ 自転車を活用した守山市のまちづくりについて

○意見交換・討議

論 点

- ・ サイクリング環境の現状と求められる姿
- ・ 自転車を活用した観光地域づくりのあり方
- ・ 官民連携のポイント
- ・ 今後の取組の考え方

パネルディスカッション

[アセットマネジメントに関する国際シンポジウム]

日時：11月1日（水）10:00～12:00 会場：3F コスモス（1）

※日英同時通訳あり

欧米諸国における舗装に焦点を当てた点検調査，評価・診断や補修計画への反映，予算獲得のための説明などのアセットマネジメントの事例について紹介するとともに，日本からはICT-舗装の取組を含む舗装マネジメントの在り方や長寿命化に向けた取組を紹介する。

欧米諸国の事例と我が国における実施内容の比較を通してアセットマネジメントの内容やあり方などについて議論し，優れた内容についてわが国の道路資産管理や長寿命化のための施策の参考とするものである。

コーディネーター：

伊藤 高（国土交通省 道路局 国道・防災課 道路保全企画室長）

講演予定者：

1. Thomas Linder トーマス リンダー

バイエルン州内務省 南バイエルン道路ネットワークマネージャー（ドイツ）

2. Slawomir Heller スラボミア ヘラー

ヘラーコンサルタンツ（ドイツ）

3. Gerardo Flintsch ジェラルド フリンツシュ

バージニア工科大学交通研究所 教授・部門長（米国）

4. Christian Honeger クリスチャン ホネガー

アスフィナックサービス㈱ アセットマネジメント部 部長（オーストリア）

5. Even Sund イブン サンド

ノルウエー公共道路庁 上席主任技師（ノルウエー）

6. 久保 和幸

国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長

パネルディスカッション

〔 途上国における道路プロジェクトを通じて 道路整備の原点を振り返る 〕

日時：11月1日（水）13:00～15:00 会場：3F コスモス（1）

※日英同時通訳あり

1996年に日本の無償資金協力で着工したネパールのシンズリ道路は、着工から約20年かけて2015年3月によりやく全線開通となった、総延長160キロメートルの道路である。国土の約8割が山岳地帯の内陸国ネパールにあって、首都カトマンズ盆地もまた急峻な山々に囲まれており、周辺国、特にインドとの物流の生命線として、シンズリ道路は大きな役割を担っている。

建設開始当初は既存の道路がなく工事関係者用生活物資をヘリコプターで輸送する、あるいは不安定な政情のための一時的な工事の中断や、記録的豪雨による斜面崩壊や土石流など、幾多の困難を乗り越えての全線開通であった。

一方、道路が全く無い地域だっただけに、シンズリ道路開通が地域に与えた効果、とりわけ経済活動の発展や教育・保健医療の改善には絶大なものがあつた。

シンズリ道路は、近年日本では直感的に感じる事が難しい「道路整備の効果」が非常に明快に現れていることに加え、技術的にも数々の難関を解決してきたという意味で、日本人技術者にとっても興味深い道路といえる。

このセッションでは、道路整備の原点が多く含まれるシンズリ道路事業を振り返り、参加者に道路技術者としてのモチベーションを喚起する場としたい。

コーディネーター：

木全 俊雄（鹿島建設株式会社中部支店土木部；元 国土交通省，JICA 専門家）

講演予定者：

1. 亀井 温子（国際協力機構南アジア部 参事役）
2. Bindu Shamsher Rana（元ネパール公共インフラ交通省道路局シンズリ道路建設事務所 所長）
3. 山下 佳久（日本工営株式会社コンサルタント海外事業本部 副技師長）
4. 猪狩 哲夫（株式会社安藤・間ネパール事務所 所長）

一般論文発表

【口頭発表】

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	22
(2) 道路管理・修繕・更新部門	32
(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門	40
(3)-2 建設・施工技術（土工）部門	55
(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門	61
(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門	67

【ポスターセッション】

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	73
(2) 道路管理・修繕・更新部門	74
(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門	74
(3)-2 建設・施工技術（土工）部門	77
(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門	77

募集論文の概要と主要課題

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

《概要》

国土の強靱化、都市・地域の活性化、産業競争力強化等のが国の重要政策課題の対応にあたり、社会・経済活動を支える基盤である道路がその役割を十分に果たしていくため、交通の円滑化、環境改善、安全性向上、ITS 技術の活用、仕事の進め方の改善等の取組を推進する必要がある。

計画・環境・安全・情報・マネジメント部門では、これらの取組に関連する調査研究、新技術、地域独自の取組等についての報告や論文を幅広く募集する。

《主要課題》

- ① 連続観測データを用いた道路サービス（円滑・安全性）の評価、事業への反映及び事業の効果計測、非常時を見据えたネットワークのリダンダンシーや回復力を考慮した道路計画（計画）
- ② 道路の建設時及び供用時における地球温暖化対策、機能確保とコスト削減を両立する効果的・効率的な植栽管理手法（環境）
- ③ 幹線道路・生活道路における効果的・効率的な交通安全対策、道路空間の再構築、既存道路空間における自転車通行空間整備の工夫・評価（安全）
- ④ 道路を賢く使いこなすための円滑・安全・環境の改善に貢献する ITS 技術、道路ネットワーク運用時代に必要とされる ITS 技術、物流・大型車マネジメント（情報）
- ⑤ コストの徹底した削減や事業のスピードアップのための工夫、官民連携の取組、生産性革命（マネジメント）
- ⑥ 地域活性化の切り札としての「道の駅」の工夫・活用（道の駅）
- ⑦ 無電柱化の推進（無電柱化）

《キーワード》

〈計画〉・道路構造 ・交通調査 ・総合交通計画 ・都市、地域計画 ・リダンダンシー ・BCP ・復興計画
〈環境〉・地球温暖化対策、CO₂ 削減、LCA（ライフサイクルアセスメント）
・環境影響評価、配慮書手続 ・沿道環境、大気質、騒音、振動・緑化、生物多様性、景観
〈安全〉・交通安全対策 ・生活道路・歩行者 ・バリアフリー ・道路空間再構築
・自転車ネットワーク計画 ・自転車通行空間整備
〈情報〉・ITS、地域 ITS、環境 ITS ・プローブ情報、ビッグデータの利活用 ・渋滞対策、安全運転支援
・道路交通運用技術 ・ITS 技術の海外展開 ・効果評価 ・地図情報、位置特定情報の活用
・物流、大型車マネジメント
〈マネジメント〉・事業促進 PPP/CM（コンストラクションマネジメント） ・技術提案交渉方式
・PPP/PFI、コンセッション方式 ・CIM ・i-Construction
〈道の駅〉・地域の活性化 ・地域の創意工夫
〈無電柱化〉・推進方策 ・効果把握

【集中討議セッション】

《主要課題》に掲げたテーマを中心として集中討議セッションを設定し、キーワードに関連する論文から集中討議セッションの対象論文を選定。

(2) 道路管理・修繕・更新部門

《概要》

道路の老朽化対策として、平成 26 年の道路法施行規則改正以降、道路橋等の重要道路構造物では、知識と技能を有する者による近接目視結果に基づく健全性の診断が義務づけられた。各道路管理者は診断結果を踏まえ、必要な措置をとることが求められている。一方、平成 28 年熊本地震をはじめとした地震、津波、液状化等の被害、平成 28 年北海道豪雨等の豪雨災害、豪雪被害が相次いでおり、防災・減災や道路ネットワーク機能維持へのいっそうの取組が求められている。これらを背景に、診断の質の向上に資する技術、合理的な補修補強等の措置技術、効率的で信頼性の高いデータ収集手法など、道路インフラを合理的に管理してゆくための技術の開発やその評価技術の確立が急務となっている。

道路管理・修繕・更新部門では、これらの社会的ニーズに応えるための調査研究・新技術等についての論文を幅広く募集する。

《主要課題》

- ① 社会資本の戦略的維持管理
- ② 道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術
(橋梁、土工、舗装、トンネル個別分野特定分野に対する技術は、建設・施工技術部門の各分野へ)
- ③ 震災対策、防災・減災対策
- ④ 冬期道路管理の高度化・効率化
- ⑤ 既存道路ネットワークの効率的活用・機能強化

《キーワード》

- ① ・アセットマネジメント ・予防保全 ・長寿命化 ・ライフサイクルコスト
・管理水準 ・管理指標 ・リスクマネジメント ・情報記録 ・データ収集 ・データ管理
- ② ・現有性能評価技術 ・アセットマネジメントのための劣化モデル
- ③ ・耐震性能評価（津波、液状化含む） ・震災対策（津波、液状化含む） ・防災対策 ・減災への取組と評価
・情報収集と発信 ・啓開、応急（緊急）復旧 ・改正災対法に基づく車両移動
- ④ ・除雪マネジメント ・雪害対策
- ⑤ ・道路ネットワーク機能の確保 ・対策の優先順位付け ・代替機能の活用 ・道路管理者間の連携

【集中討議セッション】

《主要課題》《キーワード》のアンダーラインに関連する論文から集中討議セッションの対象論文を選定。

(3)－1 建設・施工技術（舗装）部門

《概要》

国・地方自治体等で舗装のメンテナンスサイクルの確立が喫緊の課題となっている中、舗装点検要領が平成 28 年 10 月に策定され、舗装の点検技術の推進および長寿命化がより一層重視されている。さらに、生産性革命および環境保全への対応も舗装には求められている。建設・施工技術（舗装）部門では、このような社会的要請に応える先進的な調査研究、新技術、取組事例等について幅広く論文を募集する。

《主要課題》

舗装部門の主要課題は下記のテーマとし、これらに関する産官学における「調査研究」、「新技術」、「現場における取組事例」を中心に募集する。

- ① 舗装の長寿命化
- ② 舗装の維持管理への新たな試み
- ③ 環境に配慮した舗装
- ④ 舗装における生産性革命

なお、これらに属さない報文も広く募集する。

《キーワード》

- ① 長寿命化：長的性能保証工事（課題、展開、実施例）、適材適所へのコンクリート舗装実施例、早期交通開放型コンクリート舗装、コンポジット舗装、土工と舗装とを一体的に捉えた設計・施工など
- ② 維持管理：舗装点検要領、調査、点検、診断、維持修繕、地域要件を考慮した舗装管理、メンテナンスサイクル、舗装マネジメントシステム、路面性状、FWD、材料や混合物の新しい評価法、スマートフォン、レーザースキャナ、カメラ画像等の活用など
- ③ 環境舗装：リサイクル（舗装発生材、他産業発生材）、中温化混合物、路面温度上昇抑制舗装（適用事例、理論解析）など
- ④ 生産性革命：ICT、i-Construction、IoT、省力化、省人化、無人化、安全確保など

【集中討議セッション】

テーマ「舗装における生産性向上技術」、「舗装の点検技術とメンテナンスサイクルの確立を目指した技術」に関連する自治体・企業などへ招待論文として依頼し、集中討議セッションを開催。

(3)－2 建設・施工技術（土工）部門

《概要》

建設現場における生産性向上に向けた i-construction の取組みにおいて、土工は柱の一つと位置づけられており、ICT 土工の全面的な活用が進められているところである。

また、引き続き自然災害の頻発への対応、道路の老朽化対策の一環としての構造物の定期点検、道路土工の品質確保に向けた技術基準の策定等の動きにより、本格的なメンテナンス時代、国土の強靱化に向けた取組みも進んでいる。

土工を取り巻く社会環境や制度も激変を遂げ、求められるニーズも多様化している。近年は品質の確保、維持、リサイクルの推進と発生土の品質確保、新技術・新工法の開発と導入ははじめとする技術革新、少子高齢化等の社会構造の変化や入札制度改革への対応が求められている。

建設・施工技術（土工）部門では、ICT 土工に関する取組み、道路土工構造物技術基準の運用に関する取組み、土工の維持管理に向けた取組みに関する論文の他、土工における新技術および現場での適用といった論文を広く募集する。

《主要課題》

- ① ICT 土工の活用に関する取組み
- ② 道路土工構造物技術基準の運用に関する取組み
- ③ 土構造物の維持管理（特に点検手法、非常時の管理手法）
- ④ 新技術の活用・コスト縮減・リサイクル促進と品質確保・斜面防災技術

《キーワード》

- ・道路土工、盛土工、切土工、斜面対策工、軟弱地盤対策工、カルバート工、擁壁工、排水工、仮設構造物など構成工種
- ・ICT 土工 ・土工の品質確保 ・土質調査 ・土構造物の点検手法 ・地震対策 ・災害復旧
- ・土質材料のリサイクル技術および品質確保技術 ・地盤環境保全技術（要素技術）
- ・道路土工に関する新技術（グリーン調達、IT 関連技術）
- ・道路土工の省力化 ・コスト縮減技術
- ・斜面防災対策技術（要素技術）
- ・土工と舗装との一体化（設計・施工・管理など）

【集中討議セッション】

制定から二年が経過した道路土工構造物技術基準の運用に関する先進的な取組みについて、一般および招待論文による集中討議セッションを開催。

(3)ー3 建設・施工技術（橋梁）部門

《概要》

既設橋梁の老朽化とともに人材も高齢化しており、「点検・診断技術の高度化」、「補修補強方法の最適化」などが効率的な維持管理を行う上での課題となっている。そのため、既設橋に対しては、的確な点検・診断による予防保全の実現や効果的で経済性に優れる補修補強による長寿命化や機能回復の実現が求められている。また、新設橋にあたっては、建設段階においても更なる耐久性向上のための施策導入が急務となっている。

建設・施工技術（橋梁）部門では、道路橋の維持管理に関連して、効率的なメンテナンスサイクルの構築、また道路橋の建設に関連して、計画・調査から設計、施工まで耐久性や耐震性能に優れるなどの良質な橋梁の実現に資する調査研究・新技術等に関し、幅広く論文を募集する。

《主要課題》

- ① 橋梁の計画・調査技術
- ② 橋梁の設計技術
- ③ 橋梁の施工技術
- ④ 橋梁の維持管理技術（各部門に共通的な技術は、道路管理・修繕・更新部門へ）
- ⑤ 橋梁の耐震対策技術

《キーワード》

- ① 橋梁の計画、調査
 - ・地盤の調査、評価技術　・維持管理に配慮した計画・調査
- ② 橋梁の設計技術
 - ・性能設計、部分係数設計法、信頼性設計　・新形式橋梁、橋梁の新材料
 - ・維持管理に配慮した橋梁設計　・橋梁のダメージコントロール　・橋梁の耐久性向上
- ③ 橋梁の施工技術
 - ・維持管理に配慮した施工管理技術　・ITを活用した施工管理技術　・橋梁の耐久性向上
- ④ 橋梁の維持管理技術
 - ・橋梁の点検・調査技術　・橋梁の補修・補強技術　・橋梁の長寿命化技術
 - ・橋梁の防せい防食（塗装、新材料、施工法）
- ⑤ 橋梁の耐震対策技術
 - ・橋梁の耐震性、液状化対策、軟弱地盤対策　・津波に対する配慮　・応急復旧橋

《集中討議セッション》

《主要課題》《キーワード》のアンダーラインに関連する論文から集中討議セッションの対象論文を選定。

(3)ー4 建設・施工技術（トンネル）部門

《概要》

近年の厳しい社会情勢の中、効果的・効率的な社会資本の整備・管理が求められている。

建設・施工技術（トンネル）部門では、山岳・シールド・開削・沈理工法による道路トンネルおよび付属施設（換気、照明、非常用各施設）の計画、調査、設計、施工、維持管理等に関して、より一層のコスト削減、工期短縮、良好な品質を確保する技術について、また、所要の機能を長期間確保する耐久性向上技術、耐震対策技術、労働安全衛生を改善する技術、周辺環境を保全する技術に加え、施工時の安全性を確保する技術について幅広く論文を募集する。

《主要課題》

- ① コスト削減技術
- ② 工期短縮技術
- ③ 品質確保技術
- ④ 維持管理技術（各部門に共通的な技術は、道路管理・修繕・更新部門へ）
- ⑤ 耐震対策技術
- ⑥ 労働安全衛生改善技術
- ⑦ 周辺環境保全技術
- ⑧ 施工時安全確保技術

《キーワード》

- ・トンネルの計画、調査、設計・トンネルの支保構造（支保工、覆工、セグメント等の構造）
- ・トンネルの施工（坑口対策、地すべり対策、近接施工、地盤変状対策、特殊地山対策、耐震対策、地下水保全対策、周辺環境保全対策、安全確保対策）
- ・トンネルの維持管理（トンネルの点検・調査・補修・補強技術）
- ・トンネルの付属施設（換気施設、照明施設、非常用施設）　・技術の高度化、新技術の導入

《集中討議セッション》

《主要課題》《キーワード》のアンダーラインに関連する論文から集中討議セッションの対象論文を選定。

一般論文発表

口 頭 発 表

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

無電柱化技術・整備手法	23	(1001～)
防災機能評価 ※集中討議セッション	24	(1008～)
情報基盤の高度化	25	(1020～)
道路事業マネジメント	25	(1025～)
生活道路・通学路の交通安全	26	(1032～)
景観・道路空間利活用	26	(1037～)
プローブ情報の活用	27	(1042～)
交通安全を支える施設	27	(1048～)
道路の多様な効果	28	(1053～)
自転車通行環境の計画・整備	28	(1058～)
地域活性化、道の駅	28	(1062～)
緑化	29	(1066～)
幹線道路の交通安全	29	(1070～)
道路の調査・設計手法	30	(1076～)
街路樹	30	(1081～)
情報の収集・検知・提供	31	(1086～)
環境価値の創造と負荷低減	31	(1091～)

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

31 日 スバル 13:15～15:00

無電柱化技術・整備手法

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1001	諸外国における無電柱化事業について	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○光谷 友樹 大城 温 井上 隆司
1002	海外のケーブル埋設用掘削機械の活用について	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 同	○小林 勇一 澤口 重夫 大竹 まどか
1003	舗装体内への電線等の直接埋設が道路機能に及ぼす影響の検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○西田 秀明 久保 和幸 間渕 利明
1004	舗装体内のケーブル保護層の形状の違いが舗装に与える影響について	東京農業大学 （国研）土木研究所 東京農業大学	○川名 太 寺田 剛 竹内 康
1005	寒冷地における通信ケーブルの浅層埋設に向けた管路滞留水の凍結実験	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 国土交通省北海道開発局	○岩田 圭佑 松田 泰明 蒲澤 英範
1006	無電柱化事業における民地への地上機器設置の促進および 既存ストックの活用に向けて	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○大城 温 光谷 友樹 井上 隆司
1007	市道における電線類地中化対象路線の選定視点について ～武蔵野市景観整備路線事業計画（第2次）の策定において～	武蔵野市 同	○篠田 南 射場 茂夫

31 日 701 13:30~16:45 ※集中討議セッション

防災機能評価

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1008	防災機能評価の運用について	国土交通省山形河川国道事務所 同 同	○佐藤 雄太 河本 直志 小野寺みのり
1009	四国地方における防災機能評価の適用事例とその考察	国土交通省四国地方整備局 同 同	○西丸 範生 檜田 幸伸 平口 正雄
1010	近畿圏における防災機能に関する検討	国土交通省紀南河川国道事務所 (一社) システム科学研究所 国土交通省近畿地方整備局	○立田 安礼 片山 慎太郎 渡部 正一
1011	非常時におけるネットワークの代替性の確保に向けた検証状況	国土交通省沖縄総合事務局	○宮城 智章
1012	都市部における防災機能評価に関する一考察 ～国道 20 号日野バイパスを例として～	国土交通省関東地方整備局 (一財) 国土技術研究センター 同	○松實 崇博 野平 勝 高橋 雅
1013	道路の防災機能の評価手法 ―中部版くしの歯作戦を踏まえた一考察―	国土交通省中部地方整備局	○大谷 江二
1014	防災機能評価の新たな活用に向けた一考察	国土交通省九州地方整備局 同	○中野 将 米村 享紘
1015	積雪地域における道路の脆弱性評価	国土交通省北陸地方整備局 同 同	○荒木 亮祐 御器谷 昭央 武藤 博親
1016	ETC2.0 プローブデータを活用した災害時の迂回経路に関する考察	国土交通省中国地方整備局 同 復建調査設計 (株)	○曾我 友春 吉田 真人 岩原 徹
1017	交通量配分データを用いた通行規制による影響の定量的分析	国土交通省北海道開発局 同 同	○坂ノ上 有紀 松本 一城 平 記好
1018	市区町村スケールを対象とした防災機能評価の適用可能性	東京理科大学 元 東京理科大学	○柳沼 秀樹 穂満 直樹
1019	北陸地方における緊急輸送道路ネットワークのスペクトル解析	金沢大学大学院 金沢大学 同	○中南 孝晶 中山 晶一朗 小林 俊一

31 日 703 13:30~14:45

情報基盤の高度化

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1020	大縮尺道路地図の製品仕様書への地方公共団体向け追補版の検証	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 アジア航測（株）	○今野 新 関谷 浩孝 石田 大輔
1021	LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準のデータモデルと運用方法の策定	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○川野 浩平 関谷 浩孝 青山 憲明
1022	高速道路本線で使用可能な DSRC マルチレーンフリーフロー (MLFF) 用アンテナの検討	(株) 高速道路総合技術研究所	○錦織 岐明
1023	無人化スマート IC の機器トラブル解消に向けた取り組み	西日本高速道路ファシリティーズ (株)	○濱田 政樹
1024	ETC 車載器取り付け不良に関する分析	西日本高速道路ファシリティーズ (株)	○黒田 浩之

31 日 704 13:30~15:15

道路事業マネジメント

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1025	道路等包括管理事業の試行的取り組み	前田道路（株） 府中市 同	○郭 慶煥 多田 真知子 正木 辰典
1026	コンクリート工の生産性向上のための全体最適設計に関する検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 国土交通省黒部河川事務所	○市村 靖光 梅原 剛 古本 一司
1027	橋梁維持修繕事業における新たな契約方式 (ECI 方式) の試行的導入について	田原本町 同 (株) オリエンタルコンサルタンツ	○籾内 慎司 扇谷 広純 森崎 静一
1028	コンセッションに学ぶ無料自動車専用道路の PFI 事業としての実現性	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○大沼 孝之 小川 智弘
1029	維持管理段階における CIM モデルの適用	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○寺口 敏生 関谷 浩孝 青山 憲明
1030	技術提案・交渉方式の手続実施状況を踏まえた主要課題と改善案	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○中洲 啓太 小川 智弘
1031	災害時における入札契約方式の適用状況について	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○尾浦 猛人 小川 智弘

31 日 703 15:30～16:45

生活道路・通学路の交通安全

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1032	小学生・中学生双方への交通安全教育を通じた通学路での意識と行動の変化（周南市菊川地区の場合、2016 年度）	徳山工業高等専門学校 山口県 周南市	○目山 直樹 芳西 孝行 石渡 裕
1033	生活道路交通安全対策における対策エリア抽出への ETC2.0 プローブ情報活用に向けた研究	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○川瀬 晴香 尾崎 悠太 小林 寛
1034	松山市東石井地区の生活道路における交通安全対策	国土交通省松山河川国道事務所 同 同	○萬家 正人 井手 義一 福田 亮太
1035	生活道路の交通安全対策に関する取り組み～小牧 IC 交差点の緊急安全対策～	国土交通省名古屋国道事務所 国土交通省中部地方整備局	○大原 千明 近江 朋弘
1036	ビッグデータを活用した生活道路における安全対策の取り組み	杉並区 国土交通省東京国道事務所	○石山 哲也 三條 憲一

31 日 704 15:30～16:45

景観・道路空間利活用

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1037	沿道景観を阻害する屋外広告物が広告効果に与える影響について	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 同	○田宮 敬士 松田 泰明 岩田 圭佑
1038	街路樹の更新による景観機能の変化に関する被験者実験－効果的なマネジメントに向けて－	（国研）土木研究所寒地土木研究所 国土交通省北海道開発局 （国研）土木研究所寒地土木研究所	○高橋 哲生 蒲澤 英範 葛西 聡
1039	道路空間利活用実施事例における合意形成プロセスの分析 ～合意形成の円滑化による利活用の促進に向けて～	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○小栗 ひとみ 井上 隆司 瀧本 真理
1040	地域づくりを支える道路空間再編の進め方	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○西村 亮彦 舟久保 敏
1041	御堂筋の道路空間再編に向けたモデル整備について	大阪市 同	○外勢 祐一郎 近安 規晃

1 日 701 9:30～11:00

プローブ情報の活用

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1042	ETC2.0 データを用いた速度低下区間の検出法に関する研究	広島大学大学院 同 同	○山本 優樹 塚井 誠人 山本 航
1043	携帯電話基地局の運用データを用いた移動手段の推計手法	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○北川 大喜 齋藤 貴賢 関谷 浩孝
1044	ETC2.0 プローブ情報を活用した圏央道（境古河 IC～つくば中央 IC 間）開通効果の把握	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○加藤 哲 松田 奈緒子 瀬戸下 伸介
1045	交通円滑化の観点から見た ETC2.0 プローブ情報の挙動データの利用可能性	国土交通省国土技術政策総合研究所	○安居 秀政
1046	プローブカーを用いた道路の速度変動の要因分析の試み	金沢大学大学院 金沢大学 同	○古屋 健登 中山 晶一朗 山口 裕通
1047	岡山都市圏におけるビックデータを活用した交通円滑化の取組	国土交通省岡山国道事務所 (株) オリエンタルコンサルタンツ	○谷口 雄一郎 尾高 慎二

1 日 703 9:30～10:45

交通安全を支える施設

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1048	既設道路防護柵の安全性向上に向けた改良更新	中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋（株） 中日本高速道路（株） 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋（株）	○阿部 徳男 蔦川 敦丈 野村 清政
1049	車両衝突対応バリアの設計・選定の考え方（米国の例）	（一財）土木研究センター	○安藤 和彦
1050	レーンディバイダーとしてのワイヤロープ活用促進に関する研究開発について	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 （株）高速道路総合技術研究所	○平澤 匡介 石田 樹 村松 忠久
1051	暫定二車線区間におけるワイヤロープによる交通安全対策 ―新潟県内の磐越自動車道―	東日本高速道路（株） 同 同	○山田 信行 今井 恵史 服部 浩彦
1052	ワイヤロープの非分離暫定 2 車線への適用について	（株）高速道路総合技術研究所 （国研）土木研究所寒地土木研究所 東日本高速道路（株）	○村松 忠久 平澤 匡介 田中 潤一

1 日 704 9:30～10:45

道路の多様な効果

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1053	本四高速道路の経済効果－地域間産業連関表による計測－	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング（株） 本州四国連絡高速道路（株） 同	○遠香 尚史 下元 俊英 前島 一陸
1054	京王京王線・同相模原線連続立体交差事業によるストック効果について	東京都 同	○増子 亮 横沢 香奈江
1055	山に阻まれた 2 地域が新たに結ばれることに伴う 観光消費額・イベント参加者数への影響	（株）片平エンジニアリング 同	○野村 一貴 米村 圭一郎
1056	道路事業評価における CVM 適用事例の紹介	国土交通省中国地方整備局 同 広島大学	○片岡 宏仁 藤田 修 塚井 誠人
1057	確率的均衡配分モデルによる石川県道路網の旅行時間信頼性評価	金沢大学 同 金沢大学大学院	○李 思宇 中山 晶一朗 大澤 脩司

1 日 701 11:15～12:15

自転車通行環境の計画・整備

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1058	「とるば駐車場」を活用したサイクリング環境の向上に関する社会実験	国土交通省宮崎河川国道事務所 同 同	○北村 明政 楸 淳司 山下 茜
1059	自転車利用者の行動実態に基づく安全な自転車通行空間の創出に関する調査研究	福井工業大学 福井大学 福井工業大学	○吉村 朋矩 川本 義海 三寺 潤
1060	歩道通行自転車の法令順守状況に関する調査	岩手県立大学 同	○元田 良孝 宇佐美 誠史
1061	路面表示・看板による自転車の逆走防止対策に関する一考察	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○木村 泰 大西 宏樹

1 日 703 11:15～12:15

地域活性化、道の駅

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1062	北海道における訪日外国人客のドライブ動向に関する考察	国土交通省北海道開発局 同	○蒲澤 英範 本田 肇
1063	道の駅の防災拠点機能	（株）アイ・エス・エス 法政大学	○平野 綾子 福井 恒明
1064	海外における「道の駅」による地域開発の可能性と課題について	（国研）土木研究所寒地土木研究所	○松田 泰明
1065	「道の駅」の現地調査から把握した計画・設計時の配慮事項について	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 国土交通省北海道開発局	○大竹 まどか 松田 泰明 吉田 智

1 日 704 11:15～12:15

緑化

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1066	レーザー計測技術を用いた道路樹林管理	中日本ハイウェイ・エンジニアリング 東京（株） 同 中日本高速道路（株）	○鬼束 大平 山野井 克己 石田 篤徳
1067	樹木リスク調査について	西日本高速道路エンジニアリング中国 （株） 同 同	○極楽寺 隼也 小澤 徹三 高橋 英樹
1068	イタダリの生育抑制に関する北海道地域での試験施工	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 同	○佐藤 厚子 山梨 高裕 野上 敦
1069	防草シート留め具の引抜強度の向上に関する提案	西日本高速道路エンジニアリング四国 （株） 同 同	○高畑 東志明 橋本 和明 松田 靖博

1 日 701 13:00～14:30

幹線道路の交通安全

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1070	潜在的事故危険箇所の要因分析におけるETC2.0 プローブの活用可能性の検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○川松 祐太 尾崎 悠太 小林 寛
1071	国道 54 号広島城南交差点の事故対策について	国土交通省広島国道事務所	○今田 修
1072	「ニート工法の効能」－事故発生数からの検証－	（一社）樹脂舗装技術協会	○和田 雅宏
1073	渋滞末尾点滅灯による追突事故対策の実施	阪神高速道路（株） 同 阪神高速技研（株）	○岩里 泰幸 石井 康裕 西 剛広
1074	音響付加型凍結抑制舗装の開発（年間を通じた安全対策舗装）	世紀東急工業（株） 同	○白濱 幸則 草刈 憲嗣
1075	吹雪視程障害時において過去の経験が交通行動に及ぼす影響について	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 同	○國分 徹哉 西村 敦史 松澤 勝

1 日 703 13:00～14:15

道路の調査・設計手法

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1076	片側2車線の高速道路における付加追越車線方式の試行運用	中日本高速道路（株） 中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋（株） （株）道路計画	○川島 陽子 近田 博之 石田 貴志
1077	高速道路における車両制限令違反車両の走行実態調査	（公財）日本道路交通情報センター （株）高速道路総合技術研究所 （公財）日本道路交通情報センター	○田波 岳彦 平田 恭介 江田 重之
1078	MMS データを用いた視距不良箇所の抽出技術	（株）ウエスコ 岡山理科大学 岡山大学	○吉川 慶 島田 英之 西山 哲
1079	2+1 車線道路の適用に向けた交通量及び構造に関する一考察	国土交通省国土技術政策総合研究所 国土交通省山形河川国道事務所 国土交通省国土技術政策総合研究所	○大西 宏樹 河本 直志 田中 良寛
1080	路線シンボルの標識への導入	（株）高速道路総合技術研究所 同 同	○今井 大樹 村松 忠久 邢 健

1 日 704 13:00～14:15

街路樹

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1081	街路樹の生育実態と倒伏等の発生要因の検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○飯塚 康雄 舟久保 敏
1082	街路樹倒伏を未然に防ぐための GPR による幹内部腐朽イメージング	応用地質（株） 同 同	○青池 邦夫 高橋 一徳 石澤 伸彰
1083	街路樹周辺の根上り対策および雨水の浸透保水について	日之出水道機器（株） 東邦レオ（株）	○菅野 泰次郎 中島 洋一
1084	雨水桝蓋の排水性能に関する調査研究	日之出水道機器（株） 同	○村岡 広樹 菅野 泰次郎
1085	宮崎の道路景観に配慮したワシントンニアパーム更新計画の検討	国土交通省宮崎河川国道事務所 同	○荒崎 聡子 河野 勝仁

1 日 701 14:45～16:00

情報の収集・検知・提供

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1086	ETC2.0 と高精度雨量レーダデータを組み合わせた交通障害の検知に関する一考察	(一財) 日本気象協会 (公財) 日本道路交通情報センター (一財) 日本気象協会	○吉田 真純 江田 重之 丹治 和博
1087	茨城県土木部防災検討WTにおける災害対策検討支援ツールキットの活用	茨城県 同 国土交通省国土技術政策総合研究所	○小林 享 幸加木 健 今長 信浩
1088	聴覚情報を活用した異常事象等伝達手法による注意喚起の研究	中日本高速道路(株) 中日本ハイウェイ・エンジニアリング 東京(株) 中日本高速道路(株)	○山本 浩司 矢澤 秀樹 伊藤 佑治
1089	熊本震災復旧工事箇所における渋滞情報提供の取組み	西日本高速道路(株) 同 西日本高速道路エンジニアリング九州 (株)	○西尾 治樹 三倉 義教 坂田 裕彦
1090	災害発生時に撮影した写真データを共有するシステムの機能要件	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○糸氏 敏郎 関谷 浩孝 今野 新

1 日 704 14:45～16:00

環境価値の創造と負荷低減

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1091	道路を核にしたグリーンインフラと地域づくり：全国の事例分析を基に	(株) 福山コンサルタント 石川県立大学	○長谷川 啓一 上野 裕介
1092	道路防雪林の付加価値と将来展望－米国の Living Snow Fence に関する調査研究から－	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○櫻井 俊光 松澤 勝 伊東 靖彦
1093	自動車の走行データを活用した二酸化炭素排出量の把握に関する検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○長浜 庸介 井上 隆司
1094	施工パッケージ型積算方式にあわせた道路工事の工種当たりの CO2 排出原単位に関する検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○瀧本 真理 井上 隆司
1095	油汚染土壌に対するバイオレメディエーションのパイロット試験検証	三井住建道路(株) (株) バイオレンジャーズ	○南舘 学 田中 もゆ

(2) 道路管理・修繕・更新部門

自治体における道路構造物の維持管理マネジメント支援 ※集中討議セッション	33	(2001～)
社会資本の戦略的維持管理 [舗装管理]	33	(2005～)
震災対策、防災、減災対策 [発災前対応]	34	(2011～)
道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [補修・補強]	34	(2017～)
道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [状態評価]	35	(2022～)
震災対策、防災、減災対策 [災害対応]	35	(2028～)
道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [状態計測技術]	36	(2033～)
社会資本の戦略的維持管理 [今後の維持管理手法]	36	(2039～)
道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [耐久性評価・向上]	37	(2044～)
道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [状態把握システム]	37	(2048～)
冬期道路管理の高度化・効率化 [状況把握・予測]	37	(2052～)
社会資本の戦略的維持管理 [リスク評価、劣化予測手法]	38	(2058～)
冬期道路管理の高度化・効率化 [対策]	38	(2064～)
社会資本の戦略的維持管理 [道路構造物群のアセットマネジメント]	39	(2070～)

(2) 道路管理・修繕・更新部門**31 日 706 13:45~15:00 ※集中討議セッション****自治体における道路構造物の維持管理マネジメント支援**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2001	「自治体支援」三島大橋の直轄診断と修繕代行事業について	国土交通省東北地方整備局 国土交通省郡山国道事務所	○岩渕 敦 袖林 淳
2002	呼子大橋における直轄診断及び修繕代行について	国土交通省佐賀国道事務所 国土交通省九州地方整備局	○野尻 浩人 谷川 征嗣
2003	岐阜県における ME を活用した小規模橋梁の点検修繕について	岐阜県 同 同	○樋口 喬士 奥田 雅之 桜井 孝昭
2004	現場の不確実性と有効性を考慮した地方の実用的アセットマネジメント	高知工科大学 (株) オリエンタルコンサルタンツ (株) 長大	○那須 清吾 工藤 徹郎 前田 慎一

31 日 707 13:30~15:00**社会資本の戦略的維持管理 [舗装管理]**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2005	舗装・盛土診断システムと道路維持マネジメント支援システムの開発	(公財) 岐阜県建設研究センター 岐阜大学 同	○加藤 一郎 八嶋 厚 村田 芳信
2006	FWD 試験等による道路補修前後の舗装と路体の状態変化計測	岐阜大学 同 同	○八嶋 厚 村田 芳信 荻谷 敬三
2007	FWD と 2 次元表面波探査による舗装と路体の一体型ハイブリッド点検手法の開発	岐阜大学 同 同	○荻谷 敬三 八嶋 厚 村田 芳信
2008	長期供用後のアスファルト性状と路面の破損状況について	北川ヒューテック (株) 同	○本間 圭一 桶谷 達也
2009	高速道路の耐久性を確保するアスファルトコンクリート層厚の検討	元 西日本高速道路エンジニアリング九州 (株) 西日本高速道路エンジニアリング九州 (株) 福岡大学	○鶴窪 廣洋 板倉 秀和 佐藤 研一
2010	地方道の健康管理機械・システムの研究	サーフテクノ・ラボ	○福原 敏彦

31 日 705 15:15~16:45

震災対策、防災、減災対策 [発災前対応]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2011	道路橋の耐震補強効果の分析事例	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○中尾 吉宏 片岡 正次郎
2012	特殊橋梁（迫分橋）の大規模地震対策（ロッキング橋脚から鋼コンクリート複合橋脚への更新）	西日本高速道路（株） 同	○中岡 仁志 浅野 貴弘
2013	広域道路ネットワークにおける地震被害シミュレーションの実現可能性	阪神高速道路（株） 同 （株）地震工学研究開発センター	○篠原 聖二 金治 英貞 馬越 一也
2014	既設基礎構造物の耐震性に関する検討	首都高速道路（株） 同	○堀内 佑樹 岸田 政彦
2015	四国広域道路啓開計画について	国土交通省四国地方整備局 同	○楠 英二 庄野 達也
2016	東京国道事務所の防災対策について	国土交通省東京国道事務所 同	○東 淳治 長田 勝宏

31 日 706 15:15~16:45

道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [補修・補強]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2017	基層強化による既設道路橋床版の延命化対策の基礎的研究	岩手大学 （株）復建技術コンサルタント 日本道路（株）	○小山田 哲也 飯土井 剛 弓木 宏之
2018	供用中 PC 橋のゲルバー部改良工事	首都高速道路（株） 同	○飯島 悠介 永井 政伸
2019	猿飼橋における直轄診断について	国土交通省近畿地方整備局 同 同	○林 茂視 河合 良治 玉置 栄
2020	更新用プレキャストコンクリート壁高欄継手部に関する試験報告	首都高速道路（株） 同 埼玉大学大学院	○石原 陽介 柿木 啓 牧 剛史
2021	自然電位法を活用した塩害環境下における橋梁下部工の補修について	（株）ネクスコ・エンジニアリング北 海道 東日本高速道路（株）	○中川 公太 藤井 直己

31 日	707	15:15~16:45
-------------	------------	--------------------

道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [状態評価]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2022	舗装マネジメントシステム構築における技術提案	西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 同 同	○大丸 浩志 山本 光晴 楠橋 康広
2023	インフラメンテナンスの効率化に向けた企業連携の取り組み	(株) 富士通交通・道路データサービス (株) 東芝 川崎地質 (株)	○佐々木 博 熊倉 信行 今井 利宗
2024	2次元表面波探査・電気比抵抗探査による道路盛土と舗装の評価	岐阜大学 同 同	○村田 芳信 八嶋 厚 荻谷 敬三
2025	路面下空洞調査における AI による空洞評価事例	川崎地質 (株) 富士通 (株) (株) 富士通交通・道路データサービス	○今井 利宗 上田 昌伸 島田 孝司
2026	40年経過したコンクリート舗装における健全度評価	東日本高速道路 (株) 同 同	○竹村 真那斗 佐藤 正和 今 雄貴
2027	路面下の空洞の発生状況に関する分析と考察	ジオ・サーチ (株) 同	○西村 剛 小池 豊

1 日	705	9:30~11:00
------------	------------	-------------------

震災対策、防災、減災対策 [災害対応]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2028	建設会社からの災害情報の発信	元 国土交通省国土技術政策総合研究所	○稲野 茂
2029	地震発生直後の初動期における早期被災規模感推定の取り組み	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○石井 洋輔 中尾 吉宏 片岡 正次郎
2030	震災対応に基づいたインフラ被災の早期把握技術の要求性能	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○中川 量太 片岡 正次郎 中尾 吉宏
2031	震災で不同沈下した CRCP の復旧について	国土交通省倉吉河川国道事務所 広島大学 国土交通省倉吉河川国道事務所	○赤星 剛 佐藤 良一 神宮 祥司
2032	道東自動車道 災害復旧に関する報告 ー平成28年8月 台風災害からの復旧ー	東日本高速道路 (株) 同	○三浦 由守 袴田 武大

1 日 706 9:30～11:00

道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [状態計測技術]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2033	地方公共団体管理の RCT 桁橋におけるモニタリング技術の適用	(国研) 土木研究所 同 前田建設工業 (株)	○廣江 亜紀子 石田 雅博 小原 孝之
2034	非破壊検査（フェーズドアレイ）技術を活用したアンカーボルト劣化「スクリーニング調査システム」の考案	西日本高速道路エンジニアリング関西 (株) 同 同	○佐藤 英嗣 高橋 知照 西口 晃央
2035	MMS を活用した構造物の維持管理方法に関する検討	大林道路 (株) 同 i システムリサーチ (株)	○青山 俊也 森石 一志 橋本 義明
2036	加速度センサーを用いた PCa 造トールゲートの点検手法に関する研究	中日本高速道路 (株) 同	○伊藤 佑治 山本 浩司
2037	画像データと 3D データを活用した土木構造物の変状計測	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○森田 健司 今野 新 関谷 浩孝
2038	HTB 加熱による軸力調査	本州四国連絡高速道路 (株) 同 同	○信重 和紀 麓 興一郎 堤 仁志

1 日 707 9:30～11:00

社会資本の戦略的維持管理 [今後の維持管理手法]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2039	低温時の作業性に優れた高耐久の全天候型常温合材の開発	三井住建道路 (株) 同	○小野 洋 浅倉 正勝
2040	観測データに基づく道路清掃の効率化・的確化について	国土交通省大宮国道事務所 同 同	○五味 康真 山田 寧 上島 雅志
2041	高速道路の橋梁補修隊の戦略的構築	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋 (株) 同	○干村 秀次 岩竹 喜久磨
2042	小菅出口改良に伴う電気設備設計・施工	首都高速道路 (株) 同	○内藤 正偉 中越 雄貴
2043	SIP 維持管理技術の地域実装支援としての岐阜大学チームの取り組み	岐阜大学 同 同	○六郷 恵哲 羽田野 英明 沢田 和秀

1 日 705 11:15～12:15

道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [耐久性評価・向上]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2044	全天候型路面標示の規格化について	(株) 高速道路総合技術研究所 (一財) 日本塗料検査協会	○平田 恭介 清水 亮作
2045	コンクリート構造物の耐久性に及ぼす施工の影響	国土交通省東北技術事務所 同	○和田 学 川村 英弘
2046	暴露期間 10 年が経過した FRP 材料の力学特性	本州四国連絡高速道路 (株) 同 同	○町田 陽 楠原 栄樹 花井 拓
2047	重防食塗装系の駿河湾海上における 30 年間の暴露試験	(国研) 土木研究所 同	○富山 禎仁 西崎 到

1 日 706 11:15～12:15

道路構造物の維持管理への新たな試み・新技術 [状態把握システム]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2048	インフラ点検の記録効率化のためのロボット活用について	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○岡島 朝治 森川 博邦 杉谷 康弘
2049	スマホを利用した路面性状調査について	恵那市 岐阜大学	○中村 政則 村上 茂之
2050	センサー・カメラを活用した道路橋被災状況把握システムの構築	国土交通省国土技術政策総合研究所 国土交通省佐賀国道事務所 国土交通省国土技術政策総合研究所	○猿渡 基樹 梶尾 辰史 石井 洋輔
2051	非接触高速スキャニング地中レーダーデータの信号処理による RC 床版内部の損傷の自動検知	東京大学	○水谷 司

1 日 705 13:00～14:30

冬期道路管理の高度化・効率化 [状況把握・予測]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2052	X-MP レーダ雨量と地上降雪量の比較	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○大宮 哲 國分 徹哉 松下 拓樹
2053	吹きだまり・視程障害予測情報システム試行運用の取組み	(株) シー・イー・サービス 同 同	○星野 洋 間山 大輔 正岡 久明
2054	冬期道路のサービス水準と契約に関する海外事例 ～PIARC雪氷データブック2014より～	(国研) 土木研究所寒地土木研究所	○松澤 勝
2055	除雪による路肩堆雪成長傾向の把握について	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○村上 和也 植野 英睦 佐藤 信吾
2056	大雪など極端気象時における道路管理の海外事例	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同	○伊東 靖彦 松澤 勝
2057	レーダを活用した高精度降雪把握と冬期道路管理について	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○今長 信浩 片岡 正次郎

1 日	706	13:00~14:30
------------	------------	--------------------

社会資本の戦略的維持管理 [リスク評価、劣化予測手法]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2058	コンクリート橋の初回点検結果の分析	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 (国研) 土木研究所	○横田 剛 河野 晴彦 藤井 雄介
2059	貨物への衝撃による道路網の戦略的維持管理	(株) アクト・ファクトリー	○山本 武夫
2060	ポットホール発生に着目した排水性舗装の劣化予測	大阪大学大学院 西日本高速道路 (株) 同	○水谷 大二郎 洲崎 尚樹 安村 圭亮
2061	橋梁更新判定フローによる更新すべき施設の抽出について	大阪府 同 同	○渡辺 真介 畦地 久豊 北村 奈津美
2062	経年劣化 LRB を有する高架道路橋の地震リスクを考慮したライフサイクルコストに関する一考察	阪神高速道路 (株) 同	○林 訓裕 足立 幸郎

1 日	705	14:45~16:15
------------	------------	--------------------

冬期道路管理の高度化・効率化 [対策]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2064	吹雪時における防雪柵開口部の視程急変に関する考察	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○小中 隆範 松澤 勝 伊東 靖彦
2065	冬用タイヤ自動判別技術の検討	西日本高速道路エンジニアリング四国 (株) 同 同	○永易 慎二 松田 靖博 橋本 和明
2066	1人乗り除雪グレーダの安全性向上の検討	国土交通省東北技術事務所 同	○大沼 玄樹 中島 朋也
2067	冬期における道路交通の確保について	国土交通省鳥取河川国道事務所 同	○松岡 弘久 中丸 勝利
2068	塩化ナトリウム・プロピオン酸ナトリウム混合物のコンクリート凍害劣化への影響および散布効果に関する研究	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 富山県立大学 中日本高速道路 (株)	○佐藤 賢治 中島 範行 藤野 友裕
2069	機械施工による歩道の雪氷路面処理技術	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 国土交通省北海道開発局 (国研) 土木研究所寒地土木研究所	○牧野 正敏 三浦 豪 高本 敏志

1 日 706 14:45～16:15

社会資本の戦略的維持管理 [道路構造物郡のアセットマネジメント]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2070	市町村管理橋梁における健全度低下傾向の 分析手法の提案	国土交通省東京国道事務所 東京大学 同	○松藤 洋照 長井 宏平 柏 貴裕
2071	新潟県市町村を対象とした架設年次不明橋 梁の竣工年次推定の検討	東京大学大学院 東京大学 長岡工業高等専門学校	○柏 貴裕 長井 宏平 井林 康
2072	大幹線道路における橋梁群の維持管理・更 新のあり方について	大阪府 同 同	○川崎 智也 畦地 久豊 北村 奈津美
2074	橋梁を例にした管理者の異なる道路施設群 の管理データ整備への取り組み	金沢大学 同 同	○水野 裕介 中山 晶一朗 山口 裕通
2075	地下駐車場を対象とした長寿命化修繕計画 策定例について	(株) オリエンタルコンサルタンツ 同	○嶋津 卓郎 倉田 雅人

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

舗装における生産性向上技術 ※集中討議セッション	41	(3001～)
舗装の点検技術とメンテナンスサイクルの確立を目指した技術 ※集中討議セッション	41	(3005～)
①舗装の長寿命化 [高耐久型アスファルト舗装材料]	42	(3009～)
③環境に配慮した舗装 [中温化技術]	42	(3015～)
②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断①]	43	(3021～)
②舗装の維持管理への新たな試み [試験法]	43	(3027～)
①舗装の長寿命化 [コンクリート舗装]	44	(3033～)
④舗装における生産性革命 [ICT]	44	(3039～)
①舗装の長寿命化 [舗装の長寿命化]	45	(3045～)
②舗装の維持管理への新たな試み [劣化評価]	45	(3051～)
②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断②]	46	(3057～)
②舗装の維持管理への新たな試み [薄層舗装]	46	(3063～)
②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断③]	47	(3069～)
③環境に配慮した舗装 [路面温度上昇抑制舗装①]	47	(3073～)
③環境に配慮した舗装 [景観舗装]	48	(3079～)
③環境に配慮した舗装 [積雪寒冷地・凍上]	48	(3083～)
②舗装の維持管理への新たな試み [路面性状]	49	(3089～)
③環境に配慮した舗装 [アスファルト乳剤]	49	(3093～)
③環境に配慮した舗装 [カラー舗装]	49	(3097～)
④舗装における生産性革命 [安全確保・省力化]	50	(3101～)
③環境に配慮した舗装 [環境に配慮した舗装]	50	(3105～)
③環境に配慮した舗装 [グースアスファルト舗装]	51	(3111～)
③環境に配慮した舗装 [路面温度上昇抑制舗装②]	51	(3117～)
②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断④]	52	(3122～)
②舗装の維持管理への新たな試み [補修材料]	52	(3128～)
①舗装の長寿命化 [遮水型混合物]	53	(3134～)
③環境に配慮した舗装 [路面温度上昇抑制舗装③]	53	(3140～)
③環境に配慮した舗装 [ポーラスアスファルト舗装]	54	(3146～)

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

31 日 601 13:30~15:00 ※集中討議セッション

舗装における生産性向上技術

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3001 招待論文	i-Construction の効果と舗装工への拡大	国土交通省	○久保 恭伸
3002 招待論文	ICT 土工で見えてきた効果と課題について	(株) 道端組	○道端 健太
3003 招待論文	ICT 施工の評価と ICT 舗装工への取り組み	(株) NIPPO	○其田 直樹
3004 招待論文	舗装工における ICT 建設機械について	(株) トプコンソキアポジショニング ジャパン	○熊本 康明

1 日 601 13:00~14:30 ※集中討議セッション

舗装の点検技術とメンテナンスサイクルの確立を目指した技術

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3005 招待論文	舗装マネジメントを踏まえた舗装点検要領 の策定について	国土交通省	○田中 英雄
3006 招待論文	「舗装点検必携 平成 29 年版」の発刊	(公社) 日本道路協会	○若林 由弥
3007 招待論文	静岡県の舗装マネジメント（予防保全管理） への取組	静岡県	○城内 左知夫
3008 招待論文	点検・診断・措置への一連の取り組み	ニチレキ（株） 浜松市	○那珂 通大 鈴木 康二

31 日 604 13:30~15:00

①舗装の長寿命化 [高耐久型アスファルト舗装材料]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3009	DSR 試験によるポリマー改質アスファルトの分散過程の評価	大林道路（株） 同 同	○梅本 叡史 木谷 貴宏 東本 崇
3010	次世代型ポリマー改質アスファルトⅡ型の開発	昭和瀝青工業（株） 同 同	○平松 真 苦木 健吾 細野 裕貴
3011	重荷重車両が走行しても塑性変形抵抗性に優れるバインダの開発	ニチレキ（株） 同 同	○舌間 穂高 高内 大 丸山 陽
3012	アスファルト混合物の耐久性に寄与する特殊添加剤の開発	大有建設（株） 同 同	○奥村 高司 長崎 洋 小椋 拓実
3013	耐油性および耐久性を有するアスファルト混合物について	鹿島道路（株） 同 同	○小竹 祐司 岡部 俊幸 篠塚 政則
3014	耐油性および耐久性を有するアスファルト舗装の現場への適用事例	鹿島道路（株） 同 同	○林 信也 下田 博文 岡部 俊幸

31 日 605 13:30~15:00

③環境に配慮した舗装 [中温化技術]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3015	粘弾性調整系中温化剤のポーラスアスファルト混合物への適用性検討	鹿島道路（株） 同 同	○田中 絵里 五伝木 一 坂本 康文
3016	ポーラスアスファルト舗装へのフォームド技術の適用	前田道路（株） 同	○真壁 匡史 野本 真兵
3017	フォームドアスファルト技術を用いた施工性改善型混合物の適用事例	前田道路（株） 同 同	○清水 泰成 越 健太郎 江向 俊文
3018	首都高速道路浮島 JCT 補修工事におけるフォームド技術の適用について	前田道路（株） 首都高メンテナンス神奈川（株） 前田道路（株）	○村田 純 富樫 純 宇留野 裕
3019	中温化ポリマー改質アスファルトを用いた薄層アスファルト舗装の施工 1 年経過後の追跡調査結果	東亜道路工業（株） 同 国土交通省新城設楽建設事務所	○武藤 臣文 平戸 利明 小林 英樹
3020	中温化舗装の耐久性について	国土交通省中国技術事務所	○久富 浩二

31 日 606 13:30~15:00

②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断①]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3021	アスファルト舗装修繕時のコア抜き調査の有用性	(国研) 土木研究所 東亜道路工業(株) 国土交通省関東地方整備局	○渡邊 一弘 塚本 真也 宮前 雅明
3022	アスファルト舗装の開削調査手法に関する考察	(株) 高速道路総合技術研究所 同 同	○風戸 崇之 高橋 茂樹 米来 哲之
3023	簡便な非破壊試験機によるアスファルト舗装の健全度評価に関する一検討	鹿島道路(株) 同 鳥取大学	○尾崎 風香 五傳木 一 緒方 英彦
3024	材料特性が弾性係数に与える影響に関する検討	(国研) 土木研究所 同 同	○岩永 真和 寺田 剛 藪 雅行
3025	FWD 計測結果に基づいた舗装の残存寿命推定方法に関する検討	(公社) 日本道路協会 同 同	○山崎 泰生 竹内 康 寺田 剛
3026	不同沈下を考慮した CRCP 版のたわみ、応力解析について	広島大学 NAA ファシリティーズ 国土交通省中国地方整備局	○佐藤 良一 亀田 昭一 山崎 彰

31 日 607 13:30~15:00

②舗装の維持管理への新たな試み [試験法]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3027	TLC/FID 法に用いる展開溶媒の検討について	JXTG エネルギー(株) 同 昭和シェル石油(株)	○下郡 綾子 中村 好和 佐野 昌洋
3028	マーシャル試験を用いた針入度の推定方法に関する一検討	東亜道路工業(株) 同 同	○島津 義輝 大島 淳志 平戸 利明
3029	オーバーレイテスト法を用いたひび割れ抵抗性の評価に関する検討	ニチレキ(株) 同 同	○堀井 彩花 内海 正徳 丸山 陽
3030	割裂引張強度試験における供試体寸法に関する一検討	(一社) セメント協会 同 同	○伊藤 孝文 泉尾 英文 吉本 徹
3031	MMS を用いたコンクリート舗装の段差評価に関する検討	(国研) 土木研究所 同 大林道路株(株)	○若林 由弥 渡邊 一弘 森石 一志
3032	車載型プロファイルメータによる路面段差測定および MPD の推定	鹿島道路(株) 同 北見工業大学	○大嶋 智彦 岡部 俊幸 川村 彰

31 日 705 13:30~15:00

①舗装の長寿命化 [コンクリート舗装]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3033	早期交通開放型コンクリート舗装の新設高速道路への適用事例	大林道路（株） 同 中日本高速道路（株）	○藤井 秀夫 青山 博 池田 健二
3034	早期交通開放型コンクリートを用いた高速道路大型専用駐車マスの施工事例	日本道路（株） 同 東日本高速道路（株）	○山下 貴弘 尾中 博之 及川 俊介
3035	早期交通開放型コンクリートによる物流ヤードの補修	東亜道路工業（株） 同 同	○皆越 敏信 砂田 良和 酒井 卓也
3036	都市高速における新しい床版増厚工法（PCM）の諸検討と施工事例	（株）NIPPO 首都高速道路（株） （一財）首都高速道路技術センター	○阿部 大輔 蔵治 賢太郎 青木 聡
3037	縦取り機を利用した CRCP について	（株）佐藤渡辺	○坂本 寿信
3038	プレキャスト RC 舗装版による空港誘導路の急速施工事例	（株）ガイアート	○北口 航

31 日 601 15:15~16:45

④舗装における生産性革命 [ICT]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3039	i-Construction/ICT 舗装工のための出来形管理手法と基準類の検討について	国土交通省国土技術政策総合研究所 国土交通省 国土交通省国土技術政策総合研究所	○若林 康郎 近藤 弘嗣 森川 博邦
3040	舗装工事における道路土工への ICT 技術活用にむけて	北川ヒューテック（株） 同 同	○内澤 拓也 北村 啓太 桶谷 達也
3041	ICT・IoT を活用した舗装修繕工事の合理化検討	（株）NIPPO 同 同	○梶原 寛 其田 直樹 相田 尚
3042	電線共同溝工事への CIM の適用	世紀東急工業（株）	○長橋 栄美
3043	TLS を用いたアスファルト舗装の出来形計測事例	奥村組土木興業（株） 同 ライカ ジオシステムズ（株）	○梅宮 利之 藤森 章記 利光 吉紀
3044	IoT 技術を用いた混合物温度測定システムの開発	世紀東急工業（株） 同 東急建設（株）	○木谷 寛 草刈 憲嗣 柴野 一則

31 日 604 15:15～16:45

①舗装の長寿命化 [舗装の長寿命化]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3045	高強度半たわみ性舗装の開発と適用性	日本道路（株） 同 秩父コンクリート工業（株）	○弓木 宏之 徳光 克也 清水 進
3046	長寿命化を目指した構内アスファルト舗装の適用事例	大成ロテック（株） 同 同	○野中 圭 武藤 一伸 紺野 路登
3047	酒田港国際ターミナルにおける重荷重舗装に対応したポリマー改質アスファルトの施工事例	東亜道路工業（株） 同 酒井鈴木工業（株）	○榎本 勇太 松下 裕弥 太田 幸宏
3048	等価換算厚を増大させたアスファルト舗装の長寿命化舗装の 20 年の供用状況	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○谷口 聡 船越 義臣 久保 和幸
3049	山元町における舗装長寿命化への取り組み	ニチレキ（株） 山元町	○奥田 浩二 山本 勝也
3050	耐流動性評価指標とわだち掘れ量の関係（その 2）	（国研）土木研究所 同	○寺田 剛 藪 雅行

31 日 605 15:15～16:45

②舗装の維持管理への新たな試み [劣化評価]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3051	中温化混合物の回収アスファルトの性状に関する一検討	東京都 同	○峰岸 順一 狭間 博
3052	実道において早期に路面性状が劣化する区間の調査結果	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○船越 義臣 谷口 聡 久保 和幸
3053	排水性舗装の劣化特性に応じた評価指標の提案	西日本高速道路エンジニアリング四国（株） 同 同	○橋爪 謙治 橋本 和明 松田 靖博
3054	DSR によるアスファルトの劣化評価方法に関する一検討	東亜道路工業（株） 同	○大島 淳志 平戸 利明
3055	試験舗装におけるカーボンブラック添加による表面劣化抑制効果	（国研）土木研究所 同	○佐々木 厳 西崎 到
3056	繰返し再生したアスファルトバインダの化学性状の評価	（国研）土木研究所 同 同	○川島 陽子 新田 弘之 川上 篤史

31 日 606 15:15~16:45

②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断②]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3057	岐阜県内の市町村における道路維持管理の状況と課題	(公財) 岐阜県建設研究センター 同	○一川 毅彦 加藤 一郎
3058	スマートフォンを用いた簡易路面評価手法	JIP テクノサイエンス (株) 同 東京大学大学院	○廣瀬 安昭 巻幡 憲俊 長山 智則
3059	スマートフォンを用いた路面性状の簡易評価について	岐阜大学大学院 岐阜大学 (株) 富士通交通・道路データサービス	○毅力 果奇 村上 茂之 佐々木 博
3060	スマートフォンを用いた道路維持管理の効率的な取り組みについて	世紀東急工業 (株) (株) 富士通交通・道路データサービス 国土交通省岡山国道事務所	○磯部 雅紀 佐々木 博 板谷 行順
3061	スマートフォンを用いた路盤の荷重支持性能の評価方法に関する研究	東京農業大学 同 同	○小原 絢菜 川名 太 竹内 康
3062	舗装点検アプリを用いた維持管理の有効性について	(株) オリエンタルコンサルタンツ 同 夕張市	○森 飛翔 植田 知孝 佐藤 由士昌

31 日 607 15:15~16:45

②舗装の維持管理への新たな試み [薄層舗装]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3063	薄層オーバーレイ工法の開発と実路への適用事例	世紀東急工業 (株) 同 同	○村井 宏美 小柴 朋広 源藤 勉
3064	乳剤同時散布型薄層オーバーレイ舗装のブリスタリング抑制効果	大有建設 (株) 同	○澤田 悦宏 今井 宏樹
3065	特殊改質アスファルト混合物を用いた薄層オーバーレイ工法に関する検討	前田道路 (株) 同 同	○松本 健太郎 町田 治之 高 謙
3066	薄層舗装用リフレクションクラック抑制バインダの開発	ニチレキ (株) 同 同	○内海 正徳 丸山 陽 堀井 彩花
3067	応力緩和層として適用した薄層舗装の供用性について	日本道路 (株) 同 齋勝建設 (株)	○加藤 学 川村 修 木村 英人
3068	プレキャスト床版継手部におけるリフレクションクラック抑制効果の検討	(株) ガイアート	○小澤 一元

1 日 スバル 9:30~10:30

②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断③]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3069	車載した二次元レーザ変位計による面的な路面の「きめ深さ」の測定事例	東亜道路工業（株） 同 同	○塚越 翔一 塚本 真也 普天間 太
3070	熊本地震における MMS を活用した高速道路の縦横断修正計画	西日本高速道路エンジニアリング九州（株） クモノスコーポレーション（株） （株）片平エンジニアリング	○板倉 秀和 木寺 浩紀 稲森 憲二
3071	電磁波レーダを用いた Co 床版の損傷箇所検出方法について	大成ロテック（株） 同 （株）シーエスデー	○唐木 健次 城本 政一 王 婧婧
3072	Dynamic Time Warping を用いた損傷箇所検出方法について	大成ロテック（株） 同 西日本高速道路エンジニアリング中国（株）	○城本 政一 木澤 慎一 奥谷 敏雄

1 日 601 9:30~11:00

③環境に配慮した舗装 [路面温度上昇抑制舗装①]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3073	広域面積における保水性舗装の施工事例	大林道路（株） 同 同	○中齊 栞 小原 祐介 小嶋 匠
3074	保水性舗装の人に対する暑熱環境改善効果	大成ロテック（株） 同 岡山県立大学	○青木 政樹 上堂蘭 研太 島崎 康弘
3075	保水性グラウトに凍結抑制機能を付加したオールシーズン型環境舗装の開発	大有建設（株） 同 同	○長崎 洋 小椋 拓実 坂口 元
3076	ポリウレタン・ポリウレア複合型遮熱性舗装の開発	ニチレキ（株） 同	○村井 有希 福澤 勇輝
3077	速乾性を有するエマルジョン系遮熱性舗装の高耐久化に関する検討	（株）NIPPO 同 同	○岩間 将彦 吉中 保 西岡 俊介
3078	遮熱性舗装を用いたクレーン走行路の耐久性向上の検討	（株）NIPPO 同	○野村 悠介 江崎 耕太

1 日 605 9:30～10:30

③環境に配慮した舗装 [景観舗装]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3079	耐久性およびチップの飛散抑制を考慮した竹土舗装の材料特性	(株) NIPPO 福岡大学 同	○萩原 高志 佐藤 研一 藤川 拓朗
3080	各種景観舗装による神社境内の環境整備ー 神田明神構内舗装修繕工事ー	鹿島道路 (株) 同 同	○奥 篤央麻 浜口 知之 武元 格也
3081	景観に配慮した型押しすべり止め舗装の適用とその効果検証	(株) NIPPO 塩尻市	○吉田 満 小松 嘉由
3082	ポータブルスキッドレジスタンステストを用いた歩行者系舗装のすべり抵抗性能に関する一考察	日進化成 (株) 同 大和建工 (株)	○櫻井 博章 焼山 明生 斉藤 威

1 日 606 9:30～11:00

③環境に配慮した舗装 [積雪寒冷地・凍上]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3083	積雪寒冷地におけるアスファルト舗装設計に関する一検討	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○安倍 隆二 上野 千草 木村 孝司
3084	積雪寒冷地の高規格道路に適した表層用アスファルト混合物の開発	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 北海道科学大学	○田中 俊輔 木村 孝司 亀山 修一
3085	蛍光エポキシ樹脂含浸による舗装混合物内部の変状観察手法	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同	○丸山 記美雄 木村 孝司
3086	アスファルト舗装発生材の凍上抑制層材料としての基礎的検討	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○大浦 正樹 上野 千草 金谷 元
3087	アスファルト舗装発生材の凍上抑制層材料としての試験施工報告	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○金谷 元 上野 千草 大浦 正樹
3088	凍上に起因するコンクリート舗装の破損事例について	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○上野 千草 安倍 隆二 井谷 雅司

1 日 スバル 11:15~12:15

②舗装の維持管理への新たな試み [路面性状]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3089	温暖地域における若材齢ショットブラスト骨材露出工法の適用	鹿島道路（株） 阪神高速道路（株） 同	○田口 翔大 伊佐 政晃 見垣 亮太
3090	コンクリート舗装の摩擦低下と表面研削技術による対策	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同	○井谷 雅司 井谷 雅司
3091	低燃費舗装に求められる性能と路面の性能指標の関係について	（国研）土木研究所 同 同	○川上 篤史 寺田 剛 藪 雅行
3092	排水性舗装における自動車高速制動特性に関する実験的検討	（株）NIPPO （国研）土木研究所 同	○石垣 勉 川上 篤史 寺田 剛

1 日 601 11:15~12:15

③環境に配慮した舗装 [アスファルト乳剤]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3093	分解促進機構を利用した環境に優しいタックコートの開発	東亜道路工業（株） 中部国際空港（株） 同	○奥村 尋己 田上 重夫 間瀬 隆司
3094	タックコート用乳剤の急速分解剤の開発	日本道路（株） 同 同	○藤井 洋志 立花 徳啓 梶谷 明宏
3095	猛暑期にもタイヤにべたつきづらいタイヤ付着抑制型タックコート乳剤の開発	ニチレキ（株） 同	○上野 導 大野 香澄
3096	都市内長大トンネルにおけるフラッシュ現象の発生原因究明	首都高速道路（株） 同 ニチレキ（株）	○井田 達郎 石原 陽介 横島 健太

1 日 605 11:00~12:15

③環境に配慮した舗装 [カラー舗装]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3097	塗布式カラー舗装の「見え方」特性に関する一考察	日進化成（株） 同 同	○焼山 明生 仲野 尚弘 櫻井 博章
3098	舗装用カラー塗料における耐候性試験と大気暴露に関する一検討	東亜道路工業（株） 同 同	○鳴島 佳佑 及川 真依 多田 悟士
3099	付着防止剤が塗布系舗装に及ぼす影響	三井住建道路（株） 同	○酒井 宏和 深町 淳
3100	寒冷地のトンネル舗装での明色エポキシ樹脂混合物の利用について	（株）佐藤渡辺 同	○齊藤 欣哉 下野 祥一
3152	高速神奈川 7 号横浜北線における舗装概要	首都高速道路（株）	○菊地 勇気

1 日 606 11:15～12:15

④舗装における生産性革命 [安全確保・省力化]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3101	ダンプトラック後退誘導表示装置の開発	鹿島道路（株）	○新満 伊織
3102	バイタルセンシングを活用した道路建設作業 者見守りシステムの開発	（株）NIPPO 同 （株）コモドソリューションズ	○中田 真弥 駒坂 翼 浦 憲一
3103	手押し式路面乾燥機を用いたコンクリート 床版上の水分除去に関する検討	鹿島道路（株） 同	○芳賀 潤一 伊藤 圭祐
3104	路面滞水処理作業における自走式路面乾燥 機の開発	鹿島道路（株） 同	○野口 周作 伊藤 圭祐

1 日 604 13:00～14:30

③環境に配慮した舗装 [環境に配慮した舗装]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3105	再生可能エネルギー（太陽光）を活用した 発電舗装に関する基礎的研究	（株）NIPPO 岐阜大学 同	○吉中 保 野々村 修一 吉田 弘樹
3106	歩道用ポーラスコンクリートの CO ₂ 固定化 による CO ₂ 濃度低下について	（株）佐藤渡辺 同 同	○野口 純也 浅野 嘉津真 淀瀬 博文
3107	ゴミ熔融スラグを混合したアスファルト舗 装の実証実験について	明石工業高等専門学校 福田道路（株） 協和道路（株）	○鍋島 康之 藤井 政人 木和田 貴哉
3108	供用中の道路における地震対策型段差抑制 工法の施工上の対策と今後の課題	（株）NIPPO （株）オーテック （株）NIPPO	○岩本 康寿 金澤 幹周 豊田 積
3109	高速道路の高盛土における地震対策型段差 抑制工法の適用	（株）NIPPO 西日本高速道路（株） 同	○大西 啓之 松本 大二郎 岩本 淳治
3110	屋外歩行施設の舗装における中年者の下腿 の筋活動量	木更津工業高等専門学校 東亜道路工業（株） 木更津工業高等専門学校	○鬼塚 信弘 多田 悟士 沢口 義人

1 日 605 13:00~14:30

③環境に配慮した舗装 [グースアスファルト舗装]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3111	インドネシア産天然ロックアスファルトを用いたグースアスファルト混合物の適用性について	大成ロテック（株） （国研）土木研究所 同	○平川 一成 川上 篤史 寺田 剛
3112	未利用アスファルト材料を用いたグースアスファルト混合物の開発	日本道路（株） 同 （国研）土木研究所	○立花 徳啓 徳光 克也 寺田 剛
3113	鋼床版用改質グースアスファルト混合物の開発	（株）NIPPO 同	○菊池 玲児 安藤 政浩
3114	グースアスファルト混合物の製造における省力化	大林道路（株） 同 同	○中山 大輔 丸尾 繁 山下 武
3115	グースアスファルト混合物の製造時の劣化に関する検討	阪神高速技術（株） （株）NIPPO 同	○久利 良夫 江崎 耕太 野村 悠介
3116	小規模工事に対応したスラリー状常温アスファルト混合物	前田道路（株） 同 国土交通省北海道開発局	○畠山 慶吾 本間 政弘 熊谷 吉伸

1 日 606 13:00~14:15

③環境に配慮した舗装 [路面温度上昇抑制舗装②]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3117	熱環境舗装の冬季における路面温度評価	大林道路（株） 同	○小嶋 匠 掛札 さくら
3118	碍子微粉末を活用した環境配慮型舗装の路面温度低減性能	東亜道路工業（株） 同 NAP 研究所	○阿部 長門 中西 太 佐野 正典
3119	環境に配慮した歩道舗装の供用箇所における経年性能	大林道路（株） 大阪市立大学 国土交通省近畿技術事務所	○石川 義人 山田 優 平松 健
3120	ランナー向けの遮熱型弾性舗装の走行機能に関する実験的検討	日本道路（株） 同 同	○池田 茜 朴 希眞 遠藤 桂
3121	遮熱性ニート工法の舗装へ与える効果	日進化成（株） 同	○仲野 尚弘 焼山 明生

1 日 601 14:45～16:15

②舗装の維持管理への新たな試み [調査・点検・診断④]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3122	MMS カメラ画像を活用したひび割れ判定に関する検証	国際航業（株） 同 同	○井上 浩一 鈴木 達朗 藤木 三智成
3123	画像認識技術を用いた舗装ひび割れの検出手法	日立造船（株） 阪神高速技術（株） （株）ニチゾウテック	○清水 晋作 宇野津 哲哉 服部 洋
3124	AI を活用した舗装のひび割れ抽出に関する研究	（株）パスコ 同 同	○中野 准也 篠原 崇之 瀧 洋二
3125	高速道路舗装におけるひび割れ発生位置の傾向分析	大阪大学大学院 西日本高速道路（株） 大阪大学	○荒木 駿 洲崎 尚樹 田中 晶大
3126	人工知能のディープラーニング技術を活用した車上目視点検の省力化技術	福田道路（株） 同 日本電気（株）	○清水 忠昭 田口 仁 藤田 貴司
3127	タイヤ/路面騒音による路面の局在損傷の評価に関する一検討	鹿島道路（株） 同 北見工業大学	○岡部 俊幸 大嶋 智彦 川村 彰

1 日 604 14:45～16:15

②舗装の維持管理への新たな試み [補修材料]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3128	全天候型常温混合物の開発	大林道路株（株） 同 同	○佐野 俊哉 上地 俊孝 鈴木 徹
3129	特殊アスファルト乳剤を活用した予防的補修材の開発	（株）NIPPO 同 北海道科学大学	○西山 大三 安藤 政浩 亀山 修一
3130	常温材料を用いた舗装補修について ～常温低粘度浸透性乳剤の開発～	（株）ネクスコ・メンテナンス関東 東日本高速道路（株） アオイ化学工業（株）	○山崎 友和 高橋 登 尾田 英司
3131	低温硬化性に優れた高耐久段差修正材の開発	ニチレキ（株） 同	○福澤 勇輝 王 斌輝
3132	常温アスファルト混合物の作業性評価方法に関する一検討	世紀東急工業（株） 同 同	○源藤 勉 村井 宏美 柿沼 千絵美
3133	浸透型クラックシール材を併用した浸透型補修工法の追跡調査結果	西日本高速道路（株） 浸透型補修工法研究会 西日本高速道路エンジニアリング関西（株）	○下清水 秀則 足立 明良 本松 資朗

1 日 605 14:45～16:15

①舗装の長寿命化 [遮水型混合物]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3134	グースアスファルト舗装の施工継目に関する一検討	大林道路（株） 同 同	○上地 俊孝 川田 良秀 鈴木 徹
3135	コンクリート床版への適用を考慮したグースアスファルト混合物の開発	鹿島道路（株） ニチレキ（株） （株）高速道路総合技術研究所	○横田 慎也 丸山 陽 田中 敏弘
3136	橋梁レベリング層用グースアスファルト混合物のコンクリート床版への適用性	東日本高速道路（株） 同 同	○瀧川 翼 佐藤 正和 吉田 眞純
3137	遮水性を向上させた基層用混合物	（株）ネクスコ東日本エンジニアリング 東日本高速道路（株） 同	○大庭 健太郎 山形 尚裕 山田 雄太
3138	再生砕石マスチック混合物の耐水性評価に関する一考察	（株）NIPPO 同 同	○片岡 直之 小形 仁 山崎 健作
3139	排水性舗装用加熱散布型遮水層の施工効率の向上	東亜道路工業（株） 同 同	○高橋 昌史 奥村 尋己 多田 悟士

1 日 606 14:45～16:15

③環境に配慮した舗装 [路面温度上昇抑制舗装③]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3140	アスリート・観客にやさしい道づくりに向けた検討について	国土交通省 同	○中村 幸一郎 田中 英雄
3141	環境舗装の試験施工箇所における路面温度上昇抑制効果等について	国土交通省関東技術事務所 国土交通省関東地方整備局 同	○平田 健一 窪田 光作 小林 一茂
3142	遮熱性舗装のまぶしさに対する評価指標の検討	東京都 同	○西岡 佑介 峰岸 順一
3143	遮熱性舗装の反射特性確認	日本ペイント・インダストリアルコーティングス（株） 同 日本ライナー（株）	○岡田 紘明 筒井 宏明 田雑 俊弘
3144	再帰反射特性を有する遮熱性舗装の熱特性に関する検討	大分工業高等専門学校 同 路面温度上昇抑制舗装研究会	○田中 孝典 麻生 優衣 村上 浩
3145	密粒度舗装へ適用する遮熱性舗装の仕様（案）の検討	路面温度上昇抑制舗装研究会 同 同	○菅野 厚行 村上 浩 辻井 豪

1 日 607 14:45～16:15

③環境に配慮した舗装 [ポーラスアスファルト舗装]

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3146	幹線道路における二層式ポーラスアスファルト舗装の施工事例	前田道路（株） 国土交通省相武国道事務所	○平良 智洋 上田 誠
3147	小粒径用ポリマー改質アスファルト H 型の施工事例	東亜道路工業（株） 同 同	○小林 亜湖 橘 優一 花田 将彦
3148	骨材最大粒径 5mm の低騒音舗装用混合物の骨材飛散抵抗性の評価	東京都 同	○狭間 博 峰岸 順一
3149	高強度繊維補強人工骨材を適用した高耐久性ポーラスアスファルト混合物の開発	日本道路（株） 同 綾羽工業（株）	○桃田 大晃 徳光 克也 高橋 学
3150	積雪寒冷地における多機能型排水性舗装の耐久性について	（株）ガイアート 同	○齊藤 一之 山本 啓
3151	多機能型排水性舗装のすべり抵抗について	（株）ガイアート 同	○山本 啓 佐沢 昌樹

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

道路土工構造物技術基準の先進的な運用について ※集中討議セッション ...	56	(4001～)
斜面と雨	56	(4005～)
耐震設計	57	(4011～)
改良土	57	(4016～)
維持管理	58	(4021～)
災害報告	58	(4027～)
ICT	59	(4032～)
構造物管理	59	(4036～)
新技術等	60	(4041～)

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

31 日 スバル 15:15~16:45 ※集中討議セッション

道路土工構造物技術基準の先進的な運用について

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4001	地震時の道路盛土のすべり形態による道路性能の評価	(一財) 土木研究センター 阪神高速道路 (株)	○常田 賢一 上田 勝久
4002	地質リスク検討の概要～すさみ串本道路の事例～	(一社) 関西地質調査業協会 (株) ダイヤコンサルタント 応用地質 (株)	○束原 純 松村 法行 小松 慎二
4003	高速道路の地震被害復旧から土工構造物の性能を考える	西日本高速道路 (株) (一財) 土木研究センター	○田山 聡 常田 賢一
4004	道路盛土における大規模地震時の評価手法と対策について	国土交通省仙台河川国道事務所 同	○佐藤 忍 宇部 吉男

1 日 706 13:00~14:30

斜面と雨

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4005	傾斜地盤における災害時前兆現象としての空気挙動の把握	近畿大学 同	○寺岡 歩美 河井 克之
4006	高速道路における素因情報を加味した確率論的降雨時通行規制基準決定方法の提案	西日本高速道路 (株) 大阪大学大学院 同	○櫻谷 慶治 音地 拓 小濱 健吾
4007	降雨時通行規制に対する確率論的アプローチ ～高速道路における斜面災害について～	大阪大学大学院 西日本高速道路 (株) 大阪大学大学院	○音地 拓 櫻谷 慶治 小濱 健吾
4008	現地計測と数値解析を組み合わせた豪雨時の斜面危険度評価方法	大阪大学大学院 大阪大学 西日本高速道路 (株)	○伊藤 真一 小田 和広 櫻谷 慶治
4009	体積含水率に着目した降雨時の斜面の健全性評価に関する実験的研究	大阪大学大学院 西日本高速道路 (株) 大阪大学	○小泉 圭吾 櫻谷 慶治 小田 和広
4010	降雨の空間分布に基づく高速道路の通行規制方法の提案	大阪大学大学院 西日本高速道路 (株) 大阪大学大学院	○窪田 上太郎 櫻谷 慶治 小田 和広

1 日 706 14:45～16:00

耐震設計

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4011	堤内ふとんかごによる道路盛土の排水性および耐震性の向上	共和ハーモテック（株） （一財）土木研究センター	○藤木 孝則 常田 賢一
4012	要求性能に応じた盛土の設計に関する研究	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○真野 健太郎 久保 和幸 木村 一幸
4013	盛土内の地震応答加速度を考慮したニューマーク法における解法の違いについて	西日本高速道路エンジニアリング関西（株） （一財）土木研究センター 五大開発（株）	○三好 忠和 常田 賢一 木村 武雄
4014	道路盛土のすべり安全率とすべり量に及ぼす強度定数の変動の影響	西日本旅客鉄道（株） （一財）土木研究センター	○吉川 登代子 常田 賢一
4015	神戸淡路鳴門自動車道における高盛土の性能評価	本州四国連絡高速道路（株） 同 （一財）土木研究センター	○角野 充 村上 博基 常田 賢一

31 日 708 13:30～15:00

改良土

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4016	発塵抑制型石灰による浚渫度の改良と盛土材への利用	村壠石灰工業（株） 同	○石部 徹 森下 晃
4017	石灰改良土を用いた流動化土による急傾斜地盤での鉛直盛土	奥多摩工業（株） （株）高速道路総合技術研究所	○小嶋 利司 藤岡 一頼
4018	赤ぼく改良土による高速道路路床の構築	（株）東洋スタビ （株）高速道路総合技術研究所 日本石灰協会	○若原 千恵 横田 聖哉 渡辺 忠明
4019	施工から9年経過した改良土による道路盛土の長期耐久性	（国研）土木研究所 同 同	○井上 玄己 宮下 千花 宮武 裕昭
4020	軟弱地盤上に建設する高速道路盛土の設計・施工について	東日本高速道路（株） 同	○小宮 奈保子 金田 和男

31 日	708	15:15~16:45
-------------	------------	--------------------

維持管理

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4021	寒冷地における道路排水溝の凍上対策に関する試験施工について	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○野上 敦 山梨 高裕 佐藤 厚子
4022	新東名高速道路 清水 PA 南西部盛土ののり面および排水施設の復旧計画について	中日本高速道路 (株) 同 同	○鈴木 昭彦 山岸 将人 大谷 正幸
4023	切土のり面の弾性波探査から推定される風化進行の評価	(株) 高速道路総合技術研究所 明治コンサルタント (株) 同	○藤原 優 佐藤 尚弘 滝口 潤
4024	のり面点検データに基づく損傷・変状の特徴分析	大阪大学 同 西日本高速道路 (株)	○松本 聡碩 小田 和広 櫻谷 慶治
4025	ハザードマップを用いたゲリラ豪雨時の道路のり面点検方法の提案	大阪大学大学院 国際航業 (株) (株) ダイヤコンサルタント	○小田 和広 原口 勝則 鏡原 聖史
4026	道路沿い岩盤斜面の点検における UAV の活用	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○日外 勝仁 角田 富士夫 山崎 秀策

1 日	708	9:30~11:00
------------	------------	-------------------

災害報告

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4027	平成 28 年熊本地震における高速道路での切土崩壊に関する調査	西日本高速道路 (株) 同 同	○浜崎 智洋 田山 聡 村上 豊和
4028	平成 28 年熊本地震における高速道路の盛土崩壊に関する調査	西日本高速道路 (株) 同 同	○村上 豊和 田山 聡 浜崎 智洋
4029	2016 年熊本地震による緑川水系の堤防道路の被災と周辺での地震動	大阪大学大学院 同 法政大学	○大川 雄太郎 秦 吉弥 酒井 久和
4030	平成 28 年台風 10 号豪雨による北海道の一般国道 274 号日勝峠付近の道路災害	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同	○伊東 佳彦 倉橋 稔幸
4031	島根県における落石対策の取り組み	島根県	○実原 哲也

1 日 708 11:15~12:15

ICT

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4032	高速道路における ICT 土工の要領策定	(株) 高速道路総合技術研究所	○中村 洋丈
4033	i-Construction/ICT 土工における工事進捗 マネジメントの効果について	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 (一社) 日本建設機械施工協会施工技 術総合研究所	○高柳 佐和子 森川 博邦 藤島 崇
4034	ICT を活用した盛土施工事例について	国土交通省北陸地方整備局 同 同	○隅屋 佑次 諏訪 成春 高瀬 秀樹
4035	建設機械の自動化技術を核とした次世代建 設生産システム	鹿島建設 (株) 同	○小熊 正 三浦 悟

1 日 708 13:00~14:30

構造物管理

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4036	シェッドの定期点検結果の分析	国土交通省国土技術政策総合研究所 国土交通省香川河川国道事務所 国土交通省国土技術政策総合研究所	○木村 崇 西藤 淳 間渕 利明
4037	盛土・切土等の維持管理手法に関する検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 国土交通省九州地方整備局	○木村 一幸 久保 和幸 谷川 征嗣
4038	土工構造物（擁壁）にかかる点検データの 整理	国土交通省国土技術政策総合研究所 国土交通省中国地方整備局 国土交通省国土技術政策総合研究所	○藤山 一夫 高木 繁 間渕 利明
4039	大型カルバートの定期点検結果について	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 国土交通省東京国道事務所	○森本 和寛 間渕 利明 阿部 稔
4040	既設道路盛土の維持管理手法に関する研究	国土防災技術 (株) 神戸市立工業高等専門学校 神戸大学大学院	○戎 剛史 野並 賢 澁谷 啓

1 日 708 14:45～16:15

新技術等

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4041	ポケット式崩落雪防止網の開発	(株) プロテックエンジニアリング (国研) 防災科学技術研究所 (株) プロテックエンジニアリング	○西田 陽一 上石 勲 石井 太一
4042	道路におけるプレキャスト擁壁の構造的特徴	(国研) 土木研究所 同	○澤松 俊寿 宮武 裕昭
4043	ジオセルを用いた補強路盤の支持力特性および応力分散効果	日本大学大学院 日本大学 同	○伊藤 友哉 峯岸 邦夫 山中 光一
4044	衝撃加速度を用いた小規模な掘削埋め戻し土工の品質管理方法の検討	(国研) 土木研究所寒地土木研究所 同 同	○久慈 直之 山梨 高裕 佐藤 厚子
4045	新名神 宝塚北 SA における高盛土の設計・施工について	西日本高速道路 (株) 前田建設工業 (株)	○山口 卓位 小野 稔和

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

床板①	62	(5001～)
計画・施工①	62	(5006～)
床板②	63	(5011～)
計画・施工②	63	(5016～)
補修・補強	64	(5021～)
調査	64	(5026～)
技術開発	65	(5032～)
腐食対策①	65	(5037～)
腐食対策②	66	(5041～)
維持管理の高度化・効率化に向けた点検・診断技術の取り組み ※集中討議セッション	66	(5045～)

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門**31 日 608 13:30~14:45****床版①**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5001	FWD による道路橋 RC 床版の健全度評価指標の検討	近畿大学 東亜道路工業（株） 同	○東山 浩士 塚本 真也 阿部 長門
5002	コンクリート床版のたわみ計測におけるアスファルト舗装の影響について	東亜道路工業（株） 国土交通省浪速国道事務所 東亜道路工業（株）	○増戸 洋幸 永見 晃之 塚本 真也
5003	RC 床版の劣化リスクを考慮した更新優先順位付け	大阪大学大学院 同 同	○田中 晶大 水谷 大二郎 小濱 健吾
5004	RC 中空床版橋におけるボイド管上部床版厚の減少による 応力性状と耐荷機構の変化等の検討	（株）復建技術コンサルタント 国土交通省関東技術事務所 同	○飯土井 剛 窪田 光作 高橋 晃浩
5005	RC 中空床版橋におけるボイド管径と上部床版厚の違いによる応力性状等の補足検討	（株）復建技術コンサルタント 国土交通省関東技術事務所 同	○平野 至史 窪田 光作 高橋 晃浩

31 日 609 13:30~14:45**計画・施工①**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5006	首都高速神奈川 7 号横浜北線・生麦ジャンクションの設計・施工概要	首都高速道路（株）	○久野 元
5007	3 次元データを用いた架設検討事例	新日本技研（株） 同 同	○安食 春夫 高 龍 鈴木 貴和
5008	河川環境保全に配慮した淀川橋の橋梁計画	西日本高速道路（株） 同 NEXCO 西日本コンサルタンツ（株）	○安里 俊則 繁富 剛 小山 雅己
5009	上ウェブギャップ板取替補修における現場施工試験	首都高速道路（株） 同 同	○阿部 昂祐 中野 博文 村井 啓太
5010	80m を超える長尺の中掘り鋼管杭の施工	東日本高速道路（株） 同 同	○広瀬 泰之 高久 英彰 鈴木 永之

31 日 608 15:30~16:45

床版②

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5011	超緻密高強度繊維補強コンクリートによる床版上面補修の施工事例	ニチレキ（株） Jーティフコム施工協会 同	○近藤 智史 三田村 浩 馬場 弘毅
5012	超高耐久床版の開発	西日本高速道路（株） 三井住友建設（株） 同	○福田 雅人 永元 直樹 狩野 武
5013	橋梁拡幅における床版軽量化と外ケーブルによる主桁補強	大阪市 同	○渡邊 修実 島村 勇次
5014	道路橋 RC 床版上面補修に用いる複合劣化対策型高機能モルタルの検討	（株）NIPPO 太平洋セメント（株） 日本大学	○白井 悠 岸良 竜 岩城 一郎
5015	道路橋床版の仕上げ精度向上を目的とした簡易仕上げ機の適用について	（株）NIPPO 大日本土木（株） （株）駒井ハルテック	○藤谷 雅嘉 長谷川 克年 江頭 慶三

31 日 609 15:30~16:45

計画・施工②

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5016	夜間通行止めによる鋼橋の床版取替替ー東北自動車道 中山橋ー	東日本高速道路（株） 同	○綱川 悠 阿南 洵哉
5017	鋼箱桁ゲルバー支承部の構造改良工事	首都高速道路（株） 同	○村井 啓太 中野 博文
5018	東北における高速道路橋の床版取替事業計画と実施報告	東日本高速道路（株）	○高久 英彰
5019	長野自動車道 小仁熊橋床版取替工事の施工	東日本高速道路（株） 同 同	○市川 翔太 鏡 浩志 浅井 貴幸
5020	高速道路上の橋梁架設に伴う更なる安全確保の取組み	中日本高速道路（株） 同 同	○後藤 俊吾 八木 翔吾 宮部 光貴

1 日	608	9:30~10:45
------------	------------	-------------------

補修・補強

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5021	鋼トラス橋の下弦材に発生したき裂に対する詳細調査と修繕	浜松市 同 岐阜大学	○山本 正孝 横山 幸泰 木下 幸治
5022	2 方向に制震デバイスを設置した場合の制震効果の確認	首都高速道路（株） 清水建設（株） 青木あすなろ建設（株）	○久保田 成是 林 大輔 牛島 栄
5023	トラス橋における上部工の耐震補強について	東日本高速道路（株）	○大橋 友也
5024	鋼製橋脚基部の高力ボルト損傷に対する応急補修	首都高メンテナンス西東京（株） 首都高速道路（株） 同	○木野 暢之 中野 博文 嶋田 幹也
5025	交通規制時間の短縮に向けた鋼床版疲労対策	（株）高速道路総合技術研究所	○稲荷 優太郎

1 日	609	9:30~11:00
------------	------------	-------------------

調査

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5026	PC 橋の地覆水切り形状および打継ぎ方法に関する実験的検討	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 同	○正木 守 鈴木 雅博
5027	PC 橋桁端部の点検性および維持管理性に関する実験的検討	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 同	○中村 定明 左東 有次
5028	AE センサを用いた打音検査装置による PC グラウト健全性評価	原子燃料工業（株） 西日本高速道路エンジニアリング中国（株） 同	○小川 良太 前田 良文 山本 雅行
5029	既設 PC 橋グラウト充填調査のポイント	（国研）土木研究所 （一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会	○吉田 英二 北野 勇一
5030	渦流探傷法を用いた塗膜上からのき裂検出に関する検討	（一財）首都高速道路技術センター 国土交通省関東技術事務所 秦野市	○平山 繁幸 窪田 光作 蛭川 満
5031	現場における省工程剥落防止材の性能確認	首都高速道路（株） 同 同	○半澤 功祐 長田 隆信 柿木 啓

1 日 608 11:00～12:15

技術開発

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5032	反力を設計値と一致させる支承設置手法の開発と検証	首都高速道路（株） 同 同	○小林 康之 蔵治 賢太郎 村井 啓太
5033	ウォータージェット床版はつり工法の改良開発	（株）NIPPO 同 （株）フタミ	○斉藤 徹 荒井 明夫 樋口 幸弘
5034	狭い幅員の橋梁点検等に適した移動式検査路（ブリッジハンガー）の開発	（一社）NME 研究所 エスイーリペア（株） 西尾レントオール（株）	○牧角 龍憲 村上 俊明 藤田 全彦
5035	画像処理技術を用いた道路橋の常時監視システム開発に関する研究	国土交通省国土技術政策総合研究所 同 同	○中邨 亮太 白戸 真大 宮原 史
5036	災害時の民間保有型緊急仮設橋の開発について	ヒロセ（株） （株）駒井ハルテック 大阪市立大学	○杉田 圭哉 岑山 友紀 杉本 悠真

1 日 609 11:15～12:15

腐食対策①

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5037	飛来塩分環境下における溶融亜鉛－アルミ合金めっきの曝露試験 15 年目の結果	東日本高速道路（株） 同 同	○戸久世 昂真 東田 典雅 小川 正幸
5038	電気防食工法の維持管理における課題抽出を目的とした橋梁調査	（国研）土木研究所 同	○山口 岳思 石田 雅博
5039	海岸高架橋に適用したコンクリート塗装等の 28 年目の評価	東日本高速道路（株） 同 同	○加藤 真一 東田 典雅 齋藤 正司
5040	PC 橋における塩害対策効果の検証	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 （国研）土木研究所	○國富 康志 石田 雅博

1 日 608 13:00~14:00

腐食対策②

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5041	鉛含有塗膜の塗替え塗装	合同会社管理技術	○片脇 清士
5042	鋼橋の滞水防止構造の確認実験	(株) 横河ブリッジ 宮地エンジニアリング (株)	○掘井 滋則 小林 裕輔
5043	地方自治体が管理する耐候性鋼橋のさび調査	(株) 吹上技研コンサルタント 京丹波町 京都技術サポートセンター	○尾崎 大輔 山内 敏史 早田 久仁彦
5044	省工程防食材料の比較検証試験	首都高速道路 (株) 同	○石橋 正博 阿部 昂祐

1 日 スバル 14:45~16:30 ※集中討議セッション

維持管理の高度化・効率化に向けた点検・診断技術の取り組み

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
5045	赤外線サーモグラフィによる橋梁維持管理の高度化	本州四国連絡高速道路 (株) 同 神戸大学	○奥村 淳弘 溝上 善昭 阪上 隆英
5046	赤外線サーモグラフィ法による損傷箇所と橋梁コンクリートの劣化の定量化に関する研究	西日本高速道路エンジニアリング四国 (株) 同 同	○青木 勝哉 松田 靖博 橋本 和明
5047	自治体が管理する吊橋のケーブル点検事例	(一財) 京都技術サポートセンター 南山城村 同	○春田 健作 奥矢 幸一 西端 勇氣
5048	橋梁における点検困難箇所の分析と点検ロボットの適用に関する考察	(一財) 橋梁調査会 同 同	○吉田 好孝 大石 龍太郎 藤原 亨
5049	機械式打音検査装置を利用した床版等の剥離の検知について	蔦井 (株) 東洋大学 蔦井 (株)	○辻本 宗夫 曾根 真理 齊田 浩之

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

山岳トンネル ①	68	(6001～)
山岳トンネル ②	68	(6007～)
附属施設 ①	69	(6013～)
附属施設 ②	69	(6019～)
都市トンネル	70	(6025～)
トンネルの維持管理技術 ※集中討議セッション	70	(6031～)
維持管理	71	(6035～)

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門**31 日 709 13:30~15:00****山岳トンネル①**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6001	トンネル地山等級判定マニュアル（試行案）の改定について	国土交通省近畿地方整備局	○日野 友尋
6002	コンピュータジャンボを利用したトンネル掘削の情報化施工	鹿島建設（株） 同 同	○宮嶋 保幸 白鷺 卓 小泉 悠
6003	路面隆起が進行するトンネルへの盤ぶくれ変状対策	東日本高速道路（株） （株）ネクスコ・エンジニアリング東北 （株）大林組	○宮沢 一雄 安田 賢哉 木梨 秀雄
6004	インバート変位計による施工中の路盤隆起計測と対策工	（株）大林組 東日本高速道路（株） （株）大林組	○秋山 剛史 宮沢 一雄 木梨 秀雄
6005	熊本地震で被災した NATM トンネルの復旧	鹿島建設（株） 国土交通省九州地方整備局 鹿島建設（株）	○井上 祐一郎 福原 茂 中原 和彦
6006	地山からの過大な変形に対する覆工コンクリートの追従性に関する実験的考察	（国研）土木研究所 同 同	○小出 孝明 砂金 伸治 日下 敦

31 日 709 15:15~16:45**山岳トンネル②**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6007	押出し性地山におけるトンネル掘削の取組みー中部横断自動車道 樽峠トンネル南工事ー	中日本高速道路（株） 同 同	○高木 克典 金崎 孝行 脊戸川 史也
6008	大土被り区間の脆弱泥岩地山部における二重支保工の施工報告について	中日本高速道路（株） 同 同	○菅 浩亮 土屋 俊幸 篠田 貴
6009	地すべり区間のトンネル施工	中日本高速道路（株） 同 同	○高橋 豊 中島 康介 伊藤 聡一郎
6010	市道直下土被り 15m 未固結湧水区間の施工	中日本高速道路（株） （株）大林組	○山崎 哲也 桑高 崇
6011	離隔約 5m で近接施工するⅡ期線トンネルの影響予測解析と施工結果	中日本高速道路（株） 同	○今塩屋 勝 吉川 真仁
6012	（仮称）オオヌマトンネル着工に向けた技術検討の取り組み	国土交通省函館道路事務所 同 同	○福田 裕紀 阿部 正隆 佐々木 博一

1 日 709 9:00～10:30

付属施設①

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6013	大師トンネル立坑部（下層）ジェットファン 落下防止対策	首都高速道路（株） 同 同	○福島 一天 岸 秀明 加藤 雅基
6014	AE センサを用いた打音検査装置によるジェ ットファンアンカーボルト健全性評価	原子燃料工業（株） 西日本高速道路エンジニアリング中国 （株） 同	○松永 嵩 岡本 智文 三宅 徹
6015	トンネル内腐食環境における腐食量予測式 の作成	（株）高速道路総合技術研究所	○新見 哲也
6016	トンネル内の金属系あと施工アンカーの引 抜き耐力にアンカー施工状況が及ぼす影響 に関する実験的検討	（国研）土木研究所 同 同	○日下 敦 小出 孝明 砂金 伸治
6017	トンネル内装更新における高品質なタイル 直張り施工について	（株）松栄技研 （株）ネクスコ東日本エンジニアリン グ 東日本高速道路（株）	○松平 智 中野 清人 安積 淳一
6018	塗装材料を用いたトンネル内装工の現状と 適用性の検討	（株）高速道路総合技術研究所 同 同	○増田 弘明 伊藤 哲男 海瀬 忍

1 日 709 10:45～12:15

付属施設②

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6019	首都高速神奈川 7 号横浜北線 横浜北トン ネルの防災計画概要	首都高速道路（株）	○松下 大輔
6020	高速神奈川 7 号横浜北線 跳上げ式トン ネル避難施設の設計・施工	首都高速道路（株） 同	○中野 裕晶 新井 優介
6021	大和川線トンネル部避難設備の現場条件を 考慮した構造対応	阪神高速道路（株） 同 鹿島・飛島建設工事共同企業体	○中元 佑一 藤原 勝也 紀伊 吉隆
6022	トンネル内火災時の避難啓発に関する検討	（株）高速道路総合技術研究所 同 同	○清水 雅之 伊藤 哲男 海瀬 忍
6023	トンネル調査による実走行車両からの排出 ガス特性	首都高速道路（株） 同 同	○仁和 諒介 松月 基将 西浦 武
6024	厳冬期のトンネル内凝縮現象に対する予測 換気制御について	（株）高速道路総合技術研究所	○笹川 陽平

1 日 709 13:00～14:30

都市トンネル

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6025	横浜北トンネルの分合流拡幅部における地中拡幅の施工	首都高速道路（株）	○佐藤 成禎
6026	河川堤防と道路構造物との一体構造物における安全性の検討について～淀川左岸線（2期）事業～	大阪市 同	○大川 高典 横尾 英男
6027	矩形シールドトンネルにおける施工実績	阪神高速道路（株） 同 鹿島建設（株）	○松川 直史 志村 敦 渡辺 幹広
6028	大和川線シールドトンネル復路施工実績	阪神高速道路（株） 鹿島建設（株）	○大嶋 昇 紀伊 吉隆
6029	大和川線シールドトンネル最深部における併設影響に関する検討	阪神高速道路（株） 同 （株）地域地盤環境研究所	○平野 正大 藤原 勝也 出射 知佳
6030	シールドトンネルの覆工挙動に関する分析	（国研）土木研究所 同 同	○坂本 昇 砂金 伸治 森本 智

1 日 スバル 13:00～14:30 ※集中討議セッション

トンネルの維持管理技術

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6031	直轄国道で実施した道路トンネルの定期点検結果の概要と傾向分析	国土交通省国土技術政策総合研究所 国土交通省中国地方整備局 国土交通省国土技術政策総合研究所	○上原 勇気 高木 繁 間瀬 利明
6032	東京都のトンネル予防保全型管理の推進	東京都 同	○市川 吉洋 栗本 太朗
6033	トンネル覆工の高さと画像を用いたはく落予備軍の抽出とタブレットを活用した点検手法の提案	西日本高速道路エンジニアリング四国（株） 同 同	○山本 達哉 松田 靖博 橋本 和明
6034	高速道路トンネルの維持管理における AI 利用について	パシフィックコンサルタンツ（株） （株）高速道路総合技術研究所 パシフィックコンサルタンツ（株）	○岡本 直樹 前田 佳克 重田 佳幸

1 日 709 14:45～16:15

維持管理

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6035	型枠の脱型時期の違いに伴う覆工コンクリートの挙動に関する考察	（国研）土木研究所 同 同	○吉岡 知哉 砂金 伸治 森本 智
6036	覆工巻厚および背面空洞とひび割れパターンの関係性分析	パシフィックコンサルタンツ（株） 西日本高速道路（株） パシフィックコンサルタンツ（株）	○前田 洸樹 水野 希典 重田 佳幸
6037	ひび割れ指数（TCI）による覆工の変状原因推定について	（株）高速道路総合技術研究所 同 西日本高速道路（株）	○前田 佳克 伊藤 哲男 水野 希典
6038	矢板工法トンネルの盤ぶくれに対するインバート補強の検討	（株）高速道路総合技術研究所 同 同	○前川 和彦 伊藤 哲男 海瀬 忍
6039	プレキャストアーチを用いたトンネルの補強対策	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同	○長谷川 慶彦 井上 彰
6040	鋼材固定時における炭素繊維シートのトンネル補強効果に関する実験	（国研）土木研究所 同 同	○石村 利明 砂金 伸治 日下 敦

一般論文発表

ポスターセッション

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

31日 オリオン 13:00~16:30

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
1P01	一般車両プローブを活用した生活圏安全対策	住友電工システムソリューション（株） 同 同	○横山 豊輝 菅沼 英喜 須賀 正
1P02	走行中非接触給電システムの社会実装化に関する検討	（株）高速道路総合技術研究所 同	○米野 昌紀 田中 薫
1P03	生活道路等における交通安全施設用基礎について	日之出水道機器（株） 同 同	○橋本 徹 菅野 泰次郎 藤田 健太郎
1P04	ラメ入り塗料を用いた塗布系カラー舗装の開発	世紀東急工業（株） 同	○小柴 朋広 村井 宏美
1P05	北海道におけるビッグデータを活用した事故危険区間の選定について	国土交通省北海道開発局 同 同	○武本 東 小池 直幸 神田 太朗
1P06	ビッグデータを活用した幹線道路の事故対策効果の検証	国土交通省北海道開発局 同 同	○高橋 大輔 神山 繁 村岡 豊仁
1P07	商用車プローブデータを用いた所要時間算出に関する考察	（株）富士通交通・道路データサービス	○大宮 清英
1P08	商用車プローブデータを用いた車両の挙動等に関する考察	（株）富士通交通・道路データサービス	○三浦 嘉子
1P09	単路部横断による歩行者事故の特性分析	秋田大学 北海道大学 横浜国立大学	○浜岡 秀勝 萩原 亨 岡嶋 克典
1P10	生活道路用柵の基礎構造に関する実験・検討	国土交通省国土技術政策総合研究所 同	○池原 圭一 木村 泰

(2) 道路管理・修繕・更新部門**31日 オリオン 13:00~16:30**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
2P01	スマートフォンを用いた路面性状評価に関する検討	福岡大学 同 (株) 富士通交通・道路データサービス	○中牟田慎一郎 佐藤 研一 北原 文章
2P02	安全性向上のための保安制機材（内照式カラーコーン用 LED 装置）の開発	首都高メンテナンス西東京（株） 西尾レントオール（株）	○坪山 雅俊 横井 修司
2P03	オパール薄膜を用いた構造物のひび割れ可視化技術	（国研）土木研究所 同 物質・材料研究機構	○百武 壮 新田 弘之 不動寺 浩
2P04	スマートフォンを用いた冬期歩行危険箇所検出に関する基礎的検討	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 同	○齊田 光 高橋 尚人 石田 樹
2P05	視程障害時の除雪車走行支援に向けた RFID による車両位置推定に関する基礎試験	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 同	○新保 貴広 高本 敏志 佐藤 信吾
2P06	近赤外線を用いた路面状態評価に関する研究	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 北見工業大学	○中島 知幸 高橋 尚人 舘山 一孝
2P07	帯状ガイドライトの冬期におけるドライバーへの運転操作性に与える効果	（株）ネクスコ・エンジニアリング東北	○曾根 翔太

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門**1日 オリオン 9:15~12:45**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3P01	常温合材の性能評価に関する一検討	石川県 グリーン・コンサルタント（株） (株) NIPPO	○加藤 哲朗 渋谷 卓人 吉田 章吾
3P02	離島における常温施工可能な加熱アスファルト混合物の施工事例	前田道路（株） 同 同	○堤 英一郎 谷本 健太 市岡 孝夫
3P03	常温樹脂系角欠け・段差補修材の開発	(株) NIPPO ショーボンド建設（株） (株) NIPPO	○吉田 章吾 瘡師 英利 安藤 政浩
3P04	常温樹脂系ひび割れ補修材の開発	(株) NIPPO ショーボンドマテリアル（株） (株) NIPPO	○吉田 雅義 深井 直樹 大西 啓之
3P05	インドネシア国天然ロックアスファルト（アスプトン）利用マニュアルの作成	（国研）土木研究所 同 同	○木村 謙介 川上 篤史 寺田 剛

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門**1 日 オリオン 9:15~12:45**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3P06	グースアスファルト代替材料による航空灯火配管の埋設工事の事例	前田道路（株） 同 同	○小林 春隆 久保 拓也 市岡 孝夫
3P07	ジオテキスタイルを用いた道路の長期寿命化に関する実験的検討	基礎地盤コンサルタンツ（株） 同 福岡大学	○石原 好恭 若林 祐一郎 佐藤 研一
3P08	HWT 試験によるアスファルト混合物の評価と適用性	日本道路（株） 同 同	○朴 希眞 藤井 洋志 遠藤 桂
3P09	アスファルトコンクリート再生骨材の圧裂試験の精度向上に関する検討（その1）	大成ロテック（株） 前田道路（株） （国研）土木研究所	○加納 孝志 江向 俊文 川上 篤史
3P10	アスファルトコンクリート再生骨材の圧裂試験の精度向上に関する検討（その2）	前田道路（株） （国研）土木研究所 同	○江向 俊文 川島 陽子 川上 篤史
3P11	再生アスファルト混合物への中温化技術の適用に関する検討事例	（一社）日本アスファルト合材協会 （国研）土木研究所 同	○山本 富業 新田 弘之 川島 陽子
3P12	再生材を使用したコンクリート舗装の一例	大林道路（株） 同 岡山県立岡山工業高等学校	○渡邊 満葉 井手 義勝 狩屋 雅之
3P13	空港エプロン舗装における生産性向上の一検討	（株）NIPPO 同 同	○齋藤 佑太 村瀬 直哉 渡邊 裕和
3P14	ICT を活用したバックホウの排土板制御	世紀東急工業（株） 同	○草刈 憲嗣 蓮井 恵二
3P15	路床改良における地中埋設物自動判別システムの開発	（株）NIPPO 同 日本信号（株）	○丑久保 吾郎 駒坂 翼 千賀 敦夫
3P16	動的な供用性予測機能を備えた GIS 型 AMS の開発	日本道路（株） 同 同	○常松 直志 遠藤 桂 児玉 健
3P17	LED 表示パネルと FM 音声を併用した運搬車両誘導システム	福田道路（株） （株）ソーキ 福田道路（株）	○羽田 誠治 千葉 周 吉田 公一
3P18	ハイブリット型 IC タグを活用した合材工場の作業員見守りシステム	（株）NIPPO 同 同	○宮本 多佳 中田 真弥 青木 健

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門**1日 オリオン 9:15~12:45**

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
3P19	石炭灰を用いたアスファルト混合物の各種力学特性に関する検討	福岡大学大学院 福岡大学 前田道路（株）	○山下 貴弘 佐藤 研一 市岡 孝夫
3P20	石炭灰をフィラー材として用いたアスファルト混合物の施工性	前田道路（株） 同 同	○佐藤 諒介 五十嵐 潤 市岡 孝夫
3P21	大島産火山礫の有効利用 ～土系舗装への適用検討～	グリーン・コンサルタント（株） 村松興業（株） （株）NIPPO	○三浦 勇 村松 与志広 及川 博
3P22	アコヤ貝殻の活用による地域性の創出に配慮した舗装工事	鹿島道路（株） 志摩市	○寺本 永太郎 坂口 裕康
3P23	樹皮舗装の弾力性向上に関する一考察	（株）NIPPO 同 （株）大三建設	○小澤 伸也 蓮田 秀仁 久保 富美雄
3P24	竹チップを用いた土系舗装の防草効果	福岡大学 同 （株）NIPPO	○古賀 千佳嗣 佐藤 研一 三瓶 辰之
3P25	既設ゴムロールの凍結抑制機能の延命化について	（株）NIPPO 島根県 （株）NIPPO	○渡貫 辰彦 加瀬部 弘 山田 憲吾
3P26	既設路面对応凍結抑制工法の耐久性、凍結抑制効果の検証（アイストールの追跡調査報告）	オサダ技研（株） 同	○石丸 博庸 丸山 暉彦
3P27	遮熱性舗装上の熱反射特性に関する検証	路面温度上昇抑制舗装研究会 同 同	○西岡 俊介 平岡 富雄 村上 浩
3P28	超保水性インターロッキングブロックによる路面温度低減効果	日本道路（株） 同	○丸山 昌礼 川崎 昭一
3P29	環境舗装に関する取組	大林道路（株） 同	○古川 聡哉 石黒 修一
3P30	舗装の汚れに特化した洗浄剤の開発	大林道路（株） 同 同	○掛札 さくら 東本 崇 澤田 昭吾
3P31	ゲル素材を用いた側溝蓋のがたつき防止対策	前田道路（株） 平塚市	○杉本 美穂 稲葉 譲
3P32	既設コンクリート舗装版への加熱型表面処理の適用事例	日本道路（株） 同 （一財）空港環境整備協会	○相谷 武 荒尾 慶文 内田 裕人

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

31日 オリオン 13:00~16:30

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
4P01	大川佐賀道路における壁式軟弱地盤対策による試験盛土の評価	国土交通省佐賀国道事務所 同	○梶尾 辰史 清時 義雄
4P02	合成構造用鋼矢板の本体利用技術「J-WALL II 工法」の床版接合部の性能確認実験	JFE スチール（株） （株）大林組 ジェコス（株）	○河野 謙治 古荘 伸一郎 西口 正仁
4P03	岩盤切削機（サーフィスマイナー）の施工効率向上に関する検討	奥村組土木興業（株） 同 同	○川畑 雅樹 丸山 健一 藤森 章記

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

31日 オリオン 13:00~16:30

論文番号	タイトル	勤務先	氏名
6P01	高速神奈川 7 号横浜北線におけるトンネル照明設備の設計・施工	首都高速道路（株） 同	○星野 剛士 松本 直子
6P02	閉合時期の違いが併設トンネルにおよぼす力学的影響について	福島工業高等専門学校 同 （株）テムロ	○西内 瑞生 林 久資 中村 明彦
6P03	2次元数値解析による先受け工の施工範囲に関する一考察	（国研）土木研究所 中電技術コンサルタント（株） （国研）土木研究所	○北川 洋平 岸田 展明 日下 敦
6P04	道路トンネルにおける材質劣化に起因する変状の発生傾向の分析	（国研）土木研究所 同 同	○森本 智 砂金 伸治 吉岡 知哉
6P05	矢板工法で建設されたトンネル覆工表面の漏水とその長期観察例	（国研）土木研究所寒地土木研究所 同 （株）フジタ	○岡崎 健治 倉橋 稔幸 丹羽 廣海